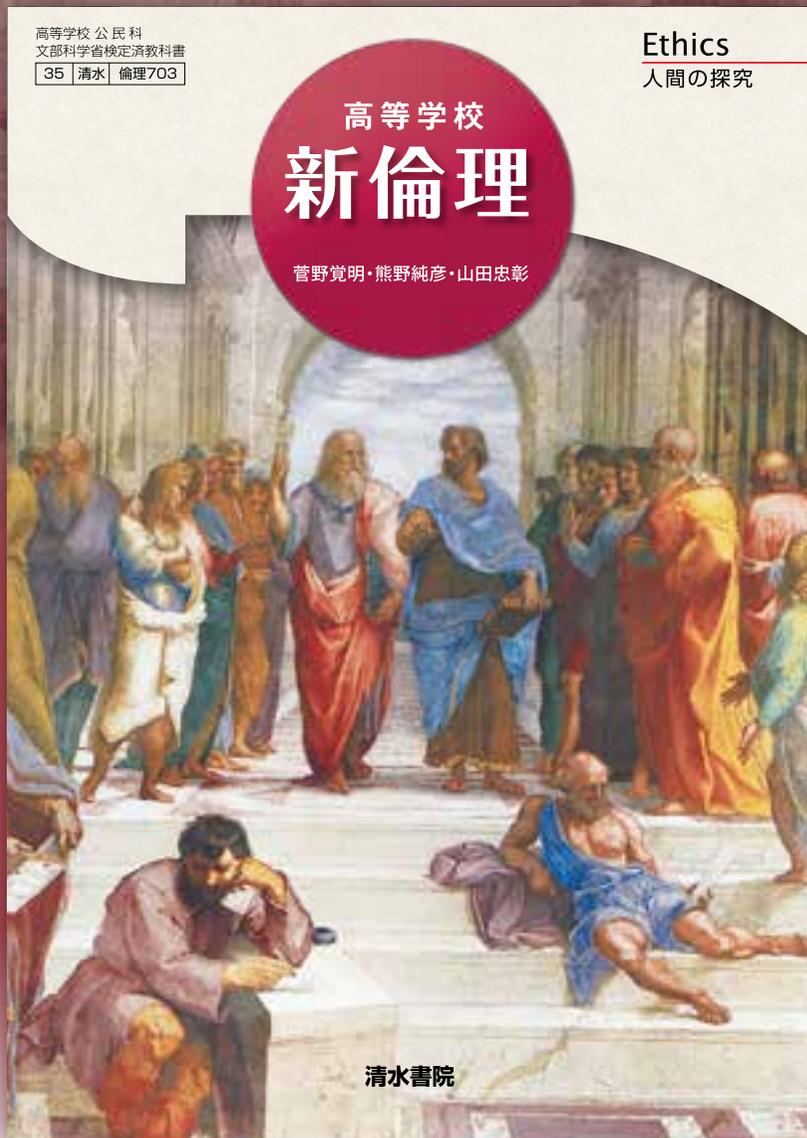


原典をふまえた精確な本文記述で 基礎・探究・入試に対応できる



新課程における「倫理」のポイント……	P. 2
本教科書・副教材を活用した	
学習の流れ……	P. 4
教科書目次……	P. 6
本書の特色(詳細)……	P. 8
QRコードコンテンツ一覧(抜粋)……	P.36
教科書準拠教材……	P.38
副教材……	P.40
デジタル指導書……	P.42
学習者用デジタル教科書……	P.53
書籍版指導書……	P.55
執筆者ご挨拶……	P.58
検討の観点……	P.59

高等学校 新倫理

Ethics 人間の探究

35清水／倫理 703 A5判 232 ページ

内容解説資料は
弊社HPでも
ご覧いただけます



教授用データの
サンプルも公開中!



学びと教育の未来をめざして

清水書院



新課程における「倫理」のポイント

■ 公民科・探究科目としての「倫理」

必修科目「公共」(2単位)

選択科目
「倫理」(2単位)

自立して思索を行う
とともに、他者と共に
生きる主体を育む

選択科目
「政治・経済」
(2単位)

国家・社会の形成に、
より積極的な役割を
果たす主体を育む

公共的な事柄に
自ら参画する意欲・態度を育み、
人間としての在り方生き方についての自覚を
一層深める

■ 「倫理」の目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養うことを目指す。

■ 「倫理」の内容と構成

※新学習指導要領の項目と教科書目次との対照表

A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方

(1) 人間としての在り方生き方の自覚

第1編

- 1 個性的な主体としての自己
- 2 心と行動をめぐる探究

第2編

- 1 哲学の始源：ギリシア思想
- 2 唯一神の宗教：キリスト教・イスラーム教
- 3 東洋思想の源流：仏教・儒教
- 4 芸術と倫理

第3編

- 1 近代の成立
- 2 世界と人間をめぐる探究

(2) 国際社会に生きる日本人としての自覚

第4編

- 1 日本の風土と精神文化
- 2 日本の近代化と人々の生き方

B 現代の諸課題と倫理

(1) 自然や科学技術に関わる諸課題と倫理

第5編

- 1 自然や科学技術をめぐる諸課題
 - 環境と倫理
 - 生命と倫理
 - 科学技術の発展とその課題

(2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理

第5編

- 2 社会や文化にかかわる諸課題
 - 文化や宗教の多様性と倫理
 - 国際平和と人類の福祉

Ethics：人間の探究—先哲の思考を辿りながら、自己・他者・人間について考察します。

学習を深める **5^{プラス}+1** の特色

特色

1

充実した学習内容，全編を通して わかりやすく丁寧な本文記述

「倫理」に新しく登場した心理学を，第1編でしっかり取り上げます。源流思想・西洋思想・東洋思想・イスラーム教などの章では，難解な思想をかみくだいて具体的に説明しています。

特色

2

主要な思想家とその思考を 的確に押さえる

「倫理」学習のポイントとなる主要な思想家を，古代から現代まで時系列で取り上げます。思想家の生涯や思考，思考にいたる過程，主著などの重要事項について，明確に記述しました。

特色

3

思考を導く原典資料を豊富に掲載

全編を通して，本文記述と結びついた原典資料，写真，図解などを豊富に掲載しています。豊富な資料を読み解くことで，倫理的な見方や考え方を身に付け，読解力・思考力を培います。

特色

4

思想を「今」に結びつけ， 現代の諸課題をとらえる

現代の諸課題を倫理的な観点からとらえて主体的に考察します。生徒がこれまでに学んだ思想と現代社会とのつながりを意識できるよう，記述と紙面構成を工夫しました。

特色

5

生徒の興味や関心を引き出す 9つの特集ページ

各所に設置した特集ページ「思索の広場」では，時代や地域の枠をこえて東西の思考をとらえます。主体的な学びの実践に活用できます。

プラス

1

133個の充実したQRコンテンツ

2022年度以降，高等学校教科書では，紙面にQRコードを掲載できるようになりました。QRコードを通して，Webページに収録された原典資料や解説などを読み取ることができます（⇒PP.36～37）。



本教科書・副教材を活用した学習の流れ

Stage I 基礎知識を習得する

- 「公共」「世界史」「日本史」などの学習内容と関連させながら、**教科書**を徹底的に読み込む。
- **わかりやすく丁寧な本文記述**を中心に、補説・脚注・図版など、紙面の細部までチェック！
- 新設の**心理学分野**にもしっかり着目！教科書全体にわたる**充実の知識量**で、「倫理」の基礎を習得。

教科書を読み込み、
「倫理」学習の**基礎知識**を蓄える

Stage II 思考力・判断力・表現力を養成

- **思想史学習**の流れで構成。思想のつながりを意識して捉えることで、理解を深める。
- 先哲について掘り下げる「人物プロフィール」欄、学習への興味を引き出す「コラム」欄を配置！
- 「**探究課題**」を実践。先哲とその思想についてさまざまな角度から考え、**自分のことば**で表現する。

思考力・判断力・
表現力を養成、
さらに**探究学習**へ

Column マクス課題—誤信念課題



ある日、マクスは、チョコレートを緑の戸棚にしまっただけで遊びに出かけた。そのあいだに、母親はそのチョコレートを買った戸棚に移した。さて、遊びから帰ってきたマクスは、チョコレートがどの戸棚にあると思っているだろうか？

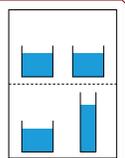
この問題に対し、おとなは「緑の戸棚」と答えるが、3〜4歳ごろの子どもは、「青い戸棚にチョコレートがあると知っている」という自分の心の状態を、マクスにも当てはめて、「青い戸棚」と答えてしまう。

私たちは、他者の感情や考え、意図などの心的状態を推論する心の機能をもつ。これを**心の理論**という。おとなは、他者が自分とは異なる心の状態をもつことを理解しているが、3〜4歳児の多くはそのことを理解できない。これは、マクス課題のような、**誤信念課題**をあたえることで確かめることができる。

7〜12歳ごろの**具体的操作期**では、具体的な事から論理的に考えることが可能になる。この時期には、対象の形が変わっても数や量は変わらないという**保存の概念**や、数学的な変換を行う能力を獲得する。

保存の概念

保存の概念を獲得していない子どもは、見かけの長さや大きさにとらわれた反応を示す。たとえば、同じ量の水を入れた、同じ大きさのコップを見せる。そのあと、ひとつのコップの水を、元のコップよりも細いものに移し替えて、どち
が多く入っているかをたずねる。すると子どもは、水位が上がった、細いコップのほうが多いと答えてしまう。



その後、12歳ごろには、**形式的操作期**の段階に到達する。具体的な事からだけでなく、想像上の現実や象徴的な概念を扱う、抽象的な思考が可能になる。「もしAであるなら、Bとなるだろう」というような、仮定にもとづく問題について考え、論理的に答えに到達することができるようになる。

Column 胡蝶の夢（「莊子」齊物論篇）

あるとき莊周は、夢のなかで蝶となり、ひらひらと空を舞っていた。すっかり蝶になりきって、あまりにも気持ちよく飛び回っていたからだろうか、自分が莊周であることを忘れていた。ふとめざめると、まざれもなく人間の莊周である。しかし、いまめざめている自分が蝶となつた夢を見ていたのか、夢のなかの蝶が莊周となつた夢を見ていたのか、夢と現実とは渾然として一体である。

◎ 莊子（胡蝶の夢）：第一編 大意集古類編 本名は莊周。生没年不明。著書「莊子」には、後代に加筆された箇所もある。



この調和のなかでは、善悪・貴賤の区別も相対的なものにすぎない。したがって、人間が、自己の判断や欲望に執着しているあいだは、つねに不自由であり、苦しみが続かない。知恵や執着を捨てて心を空しくし（心斎）、己れを忘れて自然のとはたきと一体になるとき（坐忘）、人間は本来の調和的世界におさまり、心の平和と自由が得られる。

そのようにして、何ものにもとらわれない絶対的自由の境地（逍遙遊）に達した理想の人間を、莊子は**真人**とよんだ。この見地から、彼は「天下をもつてなすところなし」（「莊子」）と説き、あくせくとした社会や政治からのがれ、名声も求めず悪もなさず、悠々として天からあたえられた寿命をまっとうすることが、人間の理想とする生き方であるとした。

道教の成立

老荘思想は、その後晩期的な民間信仰と結びつき、**道教**を生み出した。道教は、道術とよばれる修行によって不老不死の神仙になることをめざす多神教で、儒家思想、仏教儀礼、陰陽五行説などをとり入れて発展し、広く信仰を集めた。中国には現在も多数の道観（道教寺院）が残っている。

探究課題 7

- ① 家族から社会へと広がってゆく、人と人のつながりのなかで自己をとらえる儒教の教えと、無為自然を説く道家の考えを対比してみよう。
- ② 現代において、どのようなところに儒教思想が生きているだろうか。その問題点とともに考えてみよう。

① 自然界、人間界のあらゆる現象を、気の状態変化（陰・陽）と、五つの元素（木・火・土・金・水）の相互関係によって説明する理論。

Stage III 主体的な学びを実践

- 豊富な**原典資料**に触れ、その内容を正確に読み取ることで、読解力を養う。教科書の紙面以外にも、**QRコンテンツ**に資料を多数収録。
- 特集ページ「**思索の広場**」では、「対話」「幸福」「ことば」など普遍的なテーマについて主体的に考察。
- 第5篇では、これまでの学習内容と**現代の諸課題**を結びつけて探究！

主体的・対話的な学びを実践、
「倫理」の総合力を高める

Stage IV 副教材を活用して、 いざ大学入試へ!

- 豊富な「**倫理**」教材をフルに活用。
 - ・「新倫理ワークノート」「データバンク 一問一答」で基礎知識を確実に習得。
 - ・「用語集倫理」で重要語の意味を再確認、入試の出題頻度をチェック!
 - ・「完全MASTER 倫理問題集」で実戦問題に慣れ、出題傾向をつかむ。

教科書+副教材で
長文問題・融合問題に強くなる

死者の靈魂の行方 他界信仰をめぐって **思索の広場** 7

- 死後も靈魂は消え去ることなく、彼方の他界におもむいたり、生まれ変わったりして存続するという考えは、古くは、洋の東西を問わず存在した。
- 「古事記」における黄泉や常世は、山中や海上に想定された他界であった。
- 9 「出雲国風土記」によれば、とある海辺の磯（岸壁）に洞窟があり、その奥にさらに穴があって、黄泉への入り口だと信じられた（出雲郡宇賀の郷）。平安時代初期の説話集「日本書紀」には、輪廻転生の話が取られている。ふとしたきっかけで自分の前生を知った人が、前生に暮らした家を訪ね、学生だけでなく、前生の親にも孝養をつくしたという（上巻 第18話）。
- 10 浄土教の広がりとともに、さまざまな浄土教美術が盛行し、他界イメージも大きく変容した。「当麻曼荼羅」は、説法する阿彌陀仏を中心に、樓閣や蓮池に集う無数の菩薩を描き、壮麗な浄土の景観を表現する。他方、庶民の他界観をよく示すのは「熊野観心十界図」（「熊野観心十界曼荼羅」）である。
- 園の上方の半円、向かって右から
- 15 左に、出生から死にいたる人の一生が描かれ、その先には閻魔王の庁（役所）が待ち受ける。さらにすすむと、六つの迷いの世界と四つの悟りの世界があり、どこに行くかはみずから
- 20 の心次第ということが、中央の「心」の字で示される。



◎「熊野観心十界曼荼羅」（金陸山西大寺所有 回山県立博物館所蔵）中世末期以降、熊野比呂尼とよばれる女性の宗教者が諸国をめぐり、絵解きを行って広めた。迷いの世界とは、地獄・餓鬼・畜生・畜養・人・天の六道、それ以外の世界の入り口を高度とする。悟りの世界とは、声聞・縁覚・菩薩・仏の四菩提。「心」の字の横に、雲に覆る仏と菩薩、楕円の声聞と縁覚が描かれている。

● 唐の善導の「観無量寿経疏」にもとづき、観想念仏を行うために描かれた。奈良（あるいは唐）時代にさかのぼる原本があるほか、鎌倉時代以降、多くの転写本がつけられた。

付編 資料問題

以下の文章を読んで、その資料の作家名（題名）と、作者名を記し、(1)内に該当する語を記入しなさい。

●しかし、私は、知と知れずの境をめぐり、自分を相手にこう考えたのです。この人間より、私は「ア」がある。なぜなら、この人間も私も、おそらく「イ」のことがらは何も知らないらしいけれども、この人間は、知らないの口實を知っているように思っているが、私は、知らないから、そのおとりにまた、知らないと思っている。だからつまり、このちよとしたことで、私が「ア」があることにちよらしい。つまり私は、知らないことは知らないと思わなければならない。ただそれだけのことで、まぎってはいないのです。

●わたしは、アテナイ人アリストテレス、ギリシアに対して知識を愛する者だ。しかし道徳に留意するよりほかに本質に留意する。すなわち私の心の底から、決して「ア」を愛し求めることはやめないだろう。――誰にも譲れないよ。私はアテナイという、権力においても武力においても最も素晴らしい偉大な都市で育ち、また、たがが愛するところまで行くことができるものではないという様なことばかりを愛して、恥ずかしくはないが、教育や道徳のことは気にしても道徳や道徳のことは気にかけず、「イ」をできるだけするものにするということに気も配らずに生きていこうとは。

●「ア」たちが園においてなすものではないが、あるいは今日とせば、権力者と呼ばれている人たちが、真実に、かつちよするに「イ」するのではないが、つまり、道徳的観念と教育観念を統一してなす、多くの人々の愛が、道徳のようにこの二つのどちらか



教科書目次

内容をつかみやすい5編構成

目次

冒頭で普遍的な問いを提起、「倫理」の学習へと導きます

心理学を本格的に学習

人間の心のはたらきに着目、個性・感情・認知・心の発達について具体的に学習します

「倫理」学習の中核・源流思想

第2編は、丁寧な本文記述と原典資料・地図・写真による立体的な紙面構成。源流思想への理解を深めます

イスラーム教について4ページを割り、内容を充実させています

西洋思想を先に学習

西洋思想を先に学習することで、第4編の日本思想との関連や近代日本への影響を理解しやすくなります

思想史をふまえた展開

西洋近・現代思想を、歴史的・時系列的な構成のもとに学習します

第1編
現代を生きる
自己の課題

第2編
人間としての
自覚

第3編
現代をかたち
つくる倫理

序 人間とは何か	4
第1章 個性的な主体としての自己	
1 心の機能と個性	8
2 パーソナリティの形成と「私」	11
第2章 心と行動をめぐる探究	
1 人間の活動を支える心	13
2 認知のしくみ	16
3 生涯にわたる発達	19
第1章 哲学の始源：ギリシア思想	
1 神話から哲学へ——自然哲学者たち	24
2 知と徳をめぐる問い——ソクラテス	27
3 理想主義的なあり方——プラトン	32
4 現実主義的なあり方——アリストテレス	35
5 幸福をめぐる問い——ヘレニズムの思想	37
第2章 唯一神の宗教：キリスト教・イスラーム教	
第1節 愛の教え——キリスト教	
1 ユダヤ教	41
2 イエスの思想	43
3 世界宗教への展開	46
第2節 戒律と平等の教え——イスラーム教	51
第3章 東洋思想の源流：仏教・儒教	
第1節 智慧と慈悲の教え——仏教	
1 バラモン教	55
2 仏陀の思想	57
3 仏教とその後の展開	61
第2節 共同体の理想——儒教・老荘思想	
1 儒家の教え	65
2 儒教の展開	68
3 道家の思想	72
第4章 芸術と倫理	74
第1章 近代の成立	82
第2章 世界と人間をめぐる探究	
第1節 人間の尊厳	
1 ルネサンスとヒューマンズム	86
2 宗教改革と人間の内面	89
3 人間の偉大と限界	91
第2節 真理の認識——経験論と合理論	
1 近代科学の思考法	94
2 事実と経験の尊重——ベーコン	96
3 理性の光——デカルト	97
第3節 民主社会と倫理	
1 社会契約説と啓蒙思想	102
2 人格の尊厳と自由——カント	107
3 自己実現と自由——ヘーゲル	111
4 幸福と功利	114
5 創造的知性と幸福	116
第4節 現代社会と個人	
1 資本主義社会への批判	119
2 人間存在の地平——実存主義	121
3 世界と存在そのものへ——現象学	124

探究科目「倫理」では、「公共」の学習内容を活用しながら、主体的・対話的な深い学びを実践します。

西洋近・現代思想では、社会主義・実存主義・現象学を、その主要な思想家とともに取り上げます

第4編
国際社会に
生きる日本人
としての自覚

4	公共性と正義	129
5	社会参加と他者への奉仕	135
第5節 近代の世界観・人間観の問いなおし		
1	理性主義への反省	137
2	言語論的転回	141
3	科学観の転換	142
第1章 日本の風土と精神文化		
第1節 日本人の人間観・自然観・宗教観		
1	風土と日本人の生活	146
2	日本における神の観念	149
3	神と仏の出会い	152
第2節 日本人の仏教受容		
1	古代仏教の思想	153
2	鎌倉仏教の思想	158
第3節 近世社会の思想		
1	儒教の伝来と朱子学	167
2	陽明学	169
3	古学	170
4	国学と日本文化	174
5	近世庶民の思想	178
6	近代的国家への道	180
第2章 日本の近代化と人々の生き方		
第1節 西洋近代精神の摂取		
1	啓蒙思想家の活動	183
2	国家と個人の衝突	185
第2節 近代的個人の自覚		
1	近代的自我の成立と個人主義	189
2	社会改革の思想	191
第3節 主体的な生き方と価値観の模索		
1	近代日本の哲学者	194
2	近代日本の思想傾向への反省	196
3	現代日本と私たちの課題	198
第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題		
1	環境と倫理	202
2	生命と倫理	207
3	科学技術の発展とその課題	213
第2章 社会や文化にかかわる諸課題		
1	文化や宗教の多様性と倫理	217
2	国際平和と人類の福祉	221
1	対話 思考の可能性をひらく	40
2	美をめぐる判断 美と倫理とのつながり	78
3	超越的存在 東西の神	80
4	ルネサンスの神秘主義と近代科学 占星術・自然魔術・錬金術	101
5	幸福 幸福とは何か	118
6	ことば ことばとともにあること	144
7	死者の靈魂の行方 他界信仰をめぐって	165
8	時間 流れと永遠	200
9	自然 生命的自然と物質的自然	212
学習の終わりに 自己を映し出す鑑		226
さくいん		227

現代の思想家も登場!

ポパーやクワインなど、20世紀の思想家も取り上げています

内容の関連性にも配慮

思想の育まれた風土や歴史的背景もふくめて、日本思想を詳細に記述しています。節ごと・項目ごとの学習内容のつながりにも配慮しています

第2章では近代以降の思想を学習

明治・大正期から現代にいたる主要な思想家について、過不足なく記述しています

第5編ではこれまでの思想学習を活かしつつ、現代における諸課題を探究します

特集ページ「思索の広場」

話題性の高い9つのテーマを設定。時間や地域の枠を超えて、東西の思考をとらえます

第5編
現代における
諸課題の探究

思索の広場



インターネットを通じて、関連する情報にアクセスしてみよう。

<https://smz.ai/ri1>

充実した学習内容，全編を通して わかりやすく丁寧な本文記述

基本構成

第1章

個性的な主体としての自己

本文への導入を意識

各章の導入として、写真やリード文を配置。その章で何を学ぶのかを明示しています



私たち人間の営みは、高度な心のはたらきに支えられている。心が生み出すさまざまな判断や行動が、一人ひとりの個性をつくり、他者とのかかわり方や社会のなかで果たす役割の決定につながっていく。豊かな社会や多様な文化を生み出すのも、私たちの心のはたらきである。

この章では、心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を手がかりに、私たちの心のしくみやはたらきについて学んでゆこう。

スマートフォンで会話をする高校生

1 心の機能と個性



導入と本文の連携

導入と本文を連携させることで、スムーズに学習に入ることができます

個性と

パーソナリティ

青年期には自意識が芽ばえ、自分が他者とは異なる存在であることを意識するようになる。ここから、本当の自分とは何か、という問いかけがはじまる。

「私」とは何なのか。他の人とは異なる私らしさはどこにあるのだろうか。このような問いかけをみずからに対して行うとき、人は、他者とは異なる、自分自身の考え方や価値観、行動の特徴をふり返る。これは、すなわち、他者とは区別される自分の個性を見つめ、私を形成するパーソナリティのあり方を考えることでもある。

パーソナリティとは、人間のさまざまな欲求、行動や思考傾向の総体であり、個人の「人となり」を形づくる。古代ギリシアの哲学者テオプラストは、その著作『人さまざま』のなかで、「粗野」「へそ曲がり」「ほら吹き」など多様なタイプの人々をとりあげ、彼らの個性を、パーソナリティのちがいとして描き出している。

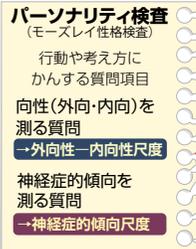
現代の心理学も、パーソナリティにかんする研究を通して、人間の個性について考察をすすめてきた。近年のパーソナリティ理論では、人々の豊かな個性を、いくつかの少数の型に押しこめるのではなく、行動傾向のちがいを生み出す特性の観点からとらえるという立場が主流である。

的確な本文記述

現代の心理学のポイントを押さえた記述。主要な心理学者やその知見を、これからしっかり学びます

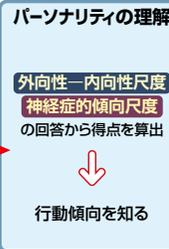
「公共」との連携もスムーズ 「公共」での青年期の学習を活用しつつ、 第1編で心理学を探究します。

5因子	特性
神経症傾向	神経質, 不安, 抑うつ
外向性	外交的, 話好き, 活動的
開放性	創造的, 大胆, 思慮深い
調和性(協調性)	温かい, 実直, 親切
誠実性	信頼できる, 良心的, 勤勉



質問に回答

自分はどうか?



④ ビッグファイブによる人格の5次元と関連する特性例

④ アイゼンクによるパーソナリティの測定 (質問紙法)

特性論と

個人差の測定

その先駆者のひとりが、イギリスで活躍した心理学者 H. J. Eysenck (1916~97) アイゼンクである。彼は、向性(外向・内向)や神経症傾向(安定・不安定)が、人の行動傾向を特徴づける基本的な特性であるとして、これらの特性を反映した行動をとる度合いを調べることで、その人のパーソナリティを把握できると考えた。このように、いくつかの特性の組み合わせによってパーソナリティが構成されるとする考え方を、特性論とよぶ。

特性論では、パーソナリティを表現する基本的な特性のまとまりを見いだすことが重要になる。現代の代表的な特性論であるビッグファイブ(5因子モデル)は、性格を、神経症傾向・外向性・開放性・調和性(または協調性)・誠実性の5つのまとまり(因子)によって、とらえようとしている。

類型論

パーソナリティを行動傾向の差異としてとらえる特性論に対して、テオプラストスのように、人々をいくつかの典型的な類型に分けてとらえる考え方を、類型論という。たとえば、スイスの精神科医ユングは、人の心的エネルギーが向かう方向によって、性格を内向型、外向型の二つに分けた。内向型の人は関心が自己の内面に向き、さまざまなことを自分とのかかわりで考えようとするのに対して、外向型の人は外部の世界に関心が向き、自分の行動を判断する基準が自分の外にある。

類型論は、パーソナリティを直感的に把握し、異なる類型を比較するには便利である。しかし、典型的な型に当てはめてしまうことで、類型には関連しない、その人の重要な特性を見のがすことにもつながるなど、問題もある。

特性論において、個人差はどのように測定されるのだろうか。よく用いられるのは、「物事を心配しがちだ」「あまりしゃべらない」というような、心の状態や行動にかんする複数の項目からなる尺度を示し、各項目に対して、自分がどの程度当てはまるかを答えさせる方法(質問紙法)である。

図解は 見せかたを工夫

本文と関連するビジュアルな図解を掲載。視覚的な効果を高めて生徒の理解をサポートします

教科書全編にわたり、ルビや人名の欧文表記・生没年、参照ページなどを、丁寧に付しています

補説に見出しを設置して、記述の要点をつかみやすいように配慮しています

充実した学習内容，全編を通して わかりやすく丁寧な本文記述



「公共」での 既習事項を活かす

「公共」で学んだ青年期の知識を活用しながら心理学的な知見にアプローチ。この項目では、心の発達について学びます

ポイントを 押さえた記述

心理学の学習では、個性・感情・認知・心の発達についてきちんと理解することが求められます。この項目では、ピアジェ、コールバーグ、エリクソン、バルテスなど主要な心理学者とその学説をしっかりと掲載しています

図解やイラストも 豊富に掲載

要点をコンパクトに整理した図解で理解をサポートします

3 生涯にわたる発達

社会的発達と愛着

人間は生まれたときから、社会的な動物として、保護者とのあいだに強い絆を形成する。赤ちゃんは概して親から離されることを嫌がるし、見知らぬ人が近づくと、親にしっかりと抱きついたりする。このような他者との情動的な絆や、無条件の信頼関係は、**愛着**（アタッチメント）とよばれる。

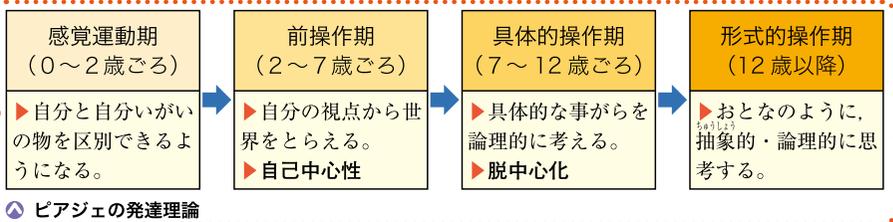
アメリカの心理学者**E. H. Erikson**（1901～80）**エリクソン**は、幼少期に安定的な愛着関係を築くことが、世界は予測可能で信頼できるという基本的信頼感の獲得に重要であると考え。幼少期の愛着形成が、成人期の人間関係において、愛情や親密さを経験するための基盤となるのである。

認知の発達

スイスの心理学者**J. Piaget**（1896～1980）**ピアジェ**は、乳児期から子ども時代の認知能力の発達にかんする理論を提唱した。ピアジェは、子どもが外界との相互作用のなかで、世界にかんする理解をつくりあげていくと考えており、発達段階を大きく、感覚運動期、前操作期、具体的操作期、形式的操作期の4段階に分けて、その特徴を議論している。

出生から2歳ごろまでの**感覚運動期**では、見る、触る、口に入れるなど、感覚と運動による外界との相互作用にもとづき、認識を形成していく。目の前のおもちゃが布で隠されるなどして、直接見えなくなっても、それが存在しつづけるという、対象の永続性を理解するのも、この時期である。

2歳児ごろから幼児期の終わりの6～7歳ごろまでは、**前操作期**とよばれる。この時期には、ことばの理解がすすむとともに、ものごとを他のものに置き換えて表現する**象徴機能**も発達し、自分や他者を別のものに見立てる想像力を使った「ごっこ遊び」を行うようになる。一方、他者の視点に立つことができなかつたり、思考が自己中心的であるという特徴ももつ。



心理学を本格的に学習!

心理学的な知見をふまえ、感情・認知・心の発達について具体的に記述しています。

P.21

水準	発達の段階	特徴
慣習以前の水準	1 罰と服従への志向	物理的な結果によって、行動の善悪を判断する。ほめられればよい行動、罰せられれば悪い行動と考える。
	2 利害を重視する志向	正しい行動とは、自分の欲求と、ときに他者の欲求を満たすことに役立つ行動であると考えられる。
慣習の水準	3 同調的、「よい子」志向	他者の意図に配慮し、他者を喜ばせたり助けたりして、他者から承認されることがよい行動であると判断する。
	4 「法と秩序」志向	社会的秩序を維持したり、自分の義務を果たすことが正しい行動であると判断する。
慣習以後の水準	5 社会契約的な法律志向	正しい行動とは、個人の権利に配慮しつつ、社会全体によって吟味され合意された基準にもとづくものと考えられる。
	6 倫理的な原理への志向	正しさとは、普遍性・一貫性のもと、みずから選択した倫理的原則に一致する良心によって規定されると考える。

◎ コールバーグによる道徳的判断の発達段階

道徳的判断の発達

ピアジェは、行為の善悪を判断するという道徳的な思考も、認知的な発達とともに段階的に発達すると考えた。

アメリカの心理学者である**コールバーグ**は、この考え方を発展させ、道徳的判断の発達にかんするモデルを提唱した。

L. Kohlberg
1927~87

5 コールバーグのモデルでは、どのような理由や基準で行動するのかにもとづき、発達段階を3つの水準からなる6段階に分けている。これらの段階は、決まった順序で達成され、他律的・強制的な道徳観から協同的・自律的な道徳観へと発達していくものとされる。

生涯にわたる発達

10 発達は、一生涯つづく過程である。エリクソンは、人生の各段階に特有の、心理的-社会的な発達課題があると

考えた。エリクソンによれば、青年期は、一人前の人格に成長する準備期間であり、おとなとしての社会的責任や義務を猶予、または免除されている「心理-社会的モラトリアム」(猶予期間、人生の免責期間)の期間なのである。この期間に、これまで体験したことのないさまざまな役割や活動に取り組み

15 試行錯誤すること(役割実験)が、みずからのアイテ者であるかにかんする意識)を確立するためには重要

20 20代から40代前半ごろの成人前期には、就職、結重要なライフイベントを経験する。これらを通して親社会で果たす役割を見だして行く。40代から60代仕事や家庭、地域において自分にあたえられた役割をを次の世代に伝え(世代継承性)、社会に貢献する時能力、認知能力の衰えを多くの人が感じはじめるのも

共通テスト・プレテスト(試行調査)で出題された内容

資料にも着目! 本文とあわせて読み解くことで理解が深まります。共通テスト対策としても効果的です

「心理学・特別授業」を収録

心理学分野の指導をサポートするパワーポイントの板書スライドをデジタル指導書に用意しています(→p.47)

イラストで課題を提起!

Column マクシ課題-誤信念課題

P.20



ある日、マクシは、チョコレート緑の戸棚にしまっておき遊びに出かけた。そのあいだに、母親はそのチョコレートを青い戸棚に移した。さて、遊びから帰ってきたマクシは、チョコレートがどの戸棚にあるかと思っているだろうか?

この問題に対し、おとなは「緑の戸棚」と答えるが、3~4歳ごろの子どもの場合は、「青い戸棚にチョコレートがあると知っている」という自分の心の状態を、マクシにも当てはめて、「青い戸棚」と答えてしまう。

充実した学習内容，全編を通して わかりやすく丁寧な本文記述

立体的な紙面構成

本文記述と原典資料・地図・写真による立体的な紙面構成。思想の育まれた風土や歴史的背景についてもきちんと押さえています

世界史の学習とも連携

タレスやヘラクレイトスなど、ギリシアの先哲の思考を的確に記述しています

脚注にも注目！

本文の記述内容の補完となる脚注にも着目！紙面の隅々にまで重要な情報が詰まっています



④ **タレス** イオニア地方の中心都市ミレトスの出身。天文学に通じ、紀元前585年の日食を予言したと伝えられる。

古代ギリシア世界とおもな思想家の出身地

自然哲学の祖**タレス**は、生成変化する自然の観察にもとづいて、「万物の根源は水である」と主張した。タレスは、あらゆる生物は水によって生きているという経験的事実から出発して、世界の根源を論理的に導き出そうとする。神話的思考を超えた、学問的精神のはじまりである。以後、自然哲学は**ミレトス学派**とよばれる学者たちのあいだで発展してゆく。

その後、**ピュタゴラス**は宇宙の調和と秩序の根源を数であると考えた。ヘラクレイトスは「万物は流転する」と主張しながら、世界は、対立し合うもののあいだの調和と秩序をふくみ、燃えさかる火こそが万物の根源であると唱える。

自然の生成変化とその秩序に注目するこうした考え方に対して、**エレア学派**の祖**パルメニデス**は、「在るものは在り、在らぬもの（無）は在らぬ」と主張した。唯一のものが存在する。存在する唯一のものは生成せず、消滅しない。変化や運動は、たんなる見せかけ（現象）なのである。パルメニデスのこの立場を、その弟子エレアのゼノン「アキレスと亀」などの議論によって擁護したほか、変わらないものに注目するエレア学派の主張は、のちにプラトンに大きな影響をあたえることになった。

- ① ミレトス学派には、アルケーを、質的にも量的にも「無限なもの」（ト・アペイロン）と考えた**アナクシマンドロス**（Anaximandros, 610B.C.? ~ 540B.C.?）や、永遠に循環しつづける「空気」であるとした**アナクシメネス**（Anaximenes, 546B.C. ごろ?）がいる。
- ② あらゆる事物は絶えず生成し、運動・変化するというヘラクレイトスの考え方を象徴することばである。

源流思想のページは立体的な紙面構成 「倫理」学習の中核となる 先哲の思想への理解を深めます。

P.27

教科書

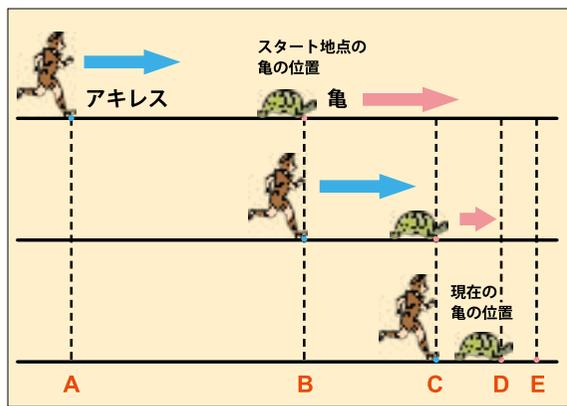
「アキレスと亀」の議論

多角的な思考を導くための新たな論点を提示します

知・徳をキーワードにソクラテスの思考を学びます

▷ 「アキレスと亀」の議論

どれほど足の速い者でも、きわめて足が遅い者に追いつくことができない。あとから追いつこうとする者は、まず先行する者が存在していた場所に到達しなければならないが、その間に先行する者はほんの少し前にすすんでおり、以下同様であるからだ、とする議論。運動が論理的に矛盾をふくむことを説いて、運動はたんなる見せかけ（現象）であると主張するものである。



これに対し、あらためて自然の生成変化を説明しようと試み、自然を構成する要素（根）として土・水・火・空気を挙げたのがエンペドクレス、原子（アトム）の集合と離散による万物の形成を説いたのがデモクリトスである。

rizōmata

Empedoklēs

atomon

Dēmokritos 492B.C.? ~ 432B.C.? 420B.C.ころ?

2 知と徳をめぐる問い ——ソクラテス



ソフィストの登場

紀元前5世紀ごろ、哲学的思考は、自然（ピュシス）ではなく人為（ノモス）、つまり法や社会制度を対象とするようになった。この大きな転換の背後にあるのは、ペルシア戦争後のアテネにおける、民主政治の成立である。市民が政治の担い手となり、家柄や財産にかかわらず政治的手腕を発揮するためには、政治的知識を身に

につけることが重視されるようになったのである。

こうした市民の要求にこたえて、ソフィスト（知者）たちが登場する。彼らは、ポリスを巡回しながら、一般教養を教えた。その代表者は、プロタゴラスやゴルゴラスは「人間は万物の尺度である」と主張した。催ゆるものの善悪と真理そのものを定める基準であって、的な真理は存在しない。このような立場は相対主義とによってさらに徹底されてゆくことになる。

このようにソフィストたちは、とくに道徳や法律、からとらえなおし、社会生活に自由な批判精神を導入を徹底させようと試みたのである。

人物像をイメージしやすいプロフィール欄

思想家の生涯や著書、エピソードなどを具体的に紹介、生徒の興味や関心を引き出します



ソクラテス Sōkratēs

470B.C.? ~ 399B.C.

アテネ出身の哲学者。父は石工、母は助産を生業としていたとされる。アテネ軍に三度にわたって従軍したとも伝えられる。自然哲学を研究し、人々との問答を通して、徳のある生き方と真の知を求めるようになった。著作はないが、彼の言行は、プラトンの著書『ソクラテスの弁明』『クリトン』や、クセノフォンの『ソクラテスの思い出』に記され、アリストファネスの喜劇『雲』では、むしろソフィストとして登場する。

P.29



アリストテレス Aristotēlēs

384B.C. ~ 322B.C.

マケドニアの医家に生まれ、プラトンに学び、古代ギリシア哲学を大成した。精緻な観察にもとづいた生物学的業績で知られるが、関心の広さから「万学の祖」とも称される。少年時代のアレクサンドロスを教育し、彼の即位とともにアテネにもどり、リュケイオンに学園を創設した。散歩しながら講義を行ったので「逍遙（ペリパトス）学派」とよばれる。講義録として『形而上学』『ニコマコス倫理学』『自然学』などが残された。

P.36

充実した学習内容，全編を通して わかりやすく丁寧な本文記述

思想家との対話

授業で活用できる原典資料を豊富に盛り込んでいます。原典資料を読み込むことは、先哲の思考に直接触れることにつながります

読み進めたくなる本文！

本文中にも問いかけを入れることで、生徒が考えながら読み進めていけるように工夫しています

読解力・思考力を培うため、教科書の全編にわたって記述に配慮しています

Text 魂への配慮（プラトン『ソクラテスの弁明』）

わたしは、アテナイ人諸君よ、君たちに対して切実な愛情をいだいている。しかし君たちに服するよりは、むしろ神に服するだろう。すなわち、わたしの息のづくかぎり、わたしにそれができるかぎり、けっして知を愛し求めることはやめないだろう。わたしは、いつだれに会っても、諸君に勧告し、言明することをやめないだろう。……世にもすぐれた人よ、君はアテナイという、知力においても武力においても最も評判の高い偉大な国都の人でありながら、ただ金銭をできるだけ多く自分のものにしたいというようなことにばかり気がつかっていて、恥ずかしくはないのか。評判や地位のことは気にしても思慮や真実のことは気かけず、魂（いのち）をできるだけすぐれたものにするということに気がつかわず心配もしていないとは。



▶ パルテノン神殿 アテナの守護神であるアテナ＝パルテノスが祀られ、聖域とされていた。

徳とは何か

人間にとって重要な真の知とは何か。ギリシア人たちは、あらゆるものにはそれぞれ固有の役割があると考えて、その役割を果たすのに要求される資質・能力をアレテー（優秀性・卓越性）とよんでいた。ソクラテスは、人間としてのアレテーは徳であって、それは人格・精神の卓越性であると主張する。

●では、人間の徳とは何か。ソクラテスは、善美を理想としたギリシアの伝統をふまえ、徳とは魂（プシュケー）を可能なかぎりよいものとする（魂への配慮）であるとする。ソクラテスにとって人間の魂の本質は理性であるから、魂への配慮とは、理性にその固有な機能を果たさせるように心がけることにほかならない。理性の機能とは真理を知ることであるから、魂をよくするとは、ソクラテスにあっては、真理を愛し求めることなのであった。

ソクラテスは、徳を認識し実現するものは、それ自身は知的なはたらきであるとする。たとえば勇氣という徳を身につけるには、勇氣について知らなければならない。一般に、徳が何であるのかを知ることなく、徳を備えることはできない。その意味で「徳は知」なのであって、このような主知主義的な立場が知徳合一とよばれる。

真の知はかならず実践へと向かい、現実の行為と結びつく。もし悪をなすならば、それは真に徳について知らないからだ。勇氣について知っているとは、勇氣あるふるまいをすることなのである（知行合一）。人間にとっては、

本文や写真、原典資料を読み込み、思考する力を身につける

「倫理」学習では、文章や写真、原典資料などから
自分が何を読み取り、どのように考えるかが重要です。

▶ 毒杯を手に、弟子たちに別れを告げる
ソクラテス（ダヴィッド画 ニューヨーク
メトロポリタン美術館蔵）ソクラテスは、
死について、誰も死を経験したことがない
のだから、死を恐れることは、知らないこ
とを知っていると思うこと、すなわち「恥
ずべき無知」であると語っている。



こうした徳を知り、それを身につけることが「よく生きる」ことであり、よく生きることこそが同時に幸福なのである（**福德一致**）。

人生への問い

こうしてソクラテスは、愛知の精神にもとづいて普遍的な真理を探究し、人間としてのあるべき姿を問い、そのような営みのなかでポリスの基盤を再建しようとした。だが、ソクラテスの言動は、当時の人々の価値観や生き方に対するきびしい批判をふくんでいたため、多くの人々を敵にまわすことになる。

ペロポネソス戦争後のアテネでは、戦後処理をめぐる権力闘争が展開されていた。そうした状況のなかで、アテネの支配層に属する者が、ソクラテスを「国家の認める神々を認めず、新しい神を信じ、青年たちを腐敗・墮落させた者」として告発するにいたる。ソクラテスが告発者の政敵とかかわりがあったからである。裁判でも、ソクラテスは自分の信念をつらぬき、死刑判決を受けた。刑の執行までに国外に亡命することをすすめる友人たちのことばを、ソクラテスは聞き入れない。

ソクラテスは、「ただ生きるのではなく、よく生きること」（プラトン『クリトン』）を生涯の目標としていた。よく生きることと正しく生きることはひとつであり、正しく生きることは法にしたがうことをふくんでいる。こうしてソクラテスは、ポリスの法にしたがいがい、毒杯をあおいだ。

探究課題 2

- 1 ソクラテスとそれ以前の哲学者を比較し、そのちがいを整理してみよう。
- 2 ソクラテスはなぜ毒杯をあおいだのか、その死の意味を考えてみよう。

絵画や芸術作品を思考の契機に

インパクトのある写真で、生徒の興味や関心を引き出します。表紙の絵画「アテネの学堂」を授業で活用することもできます

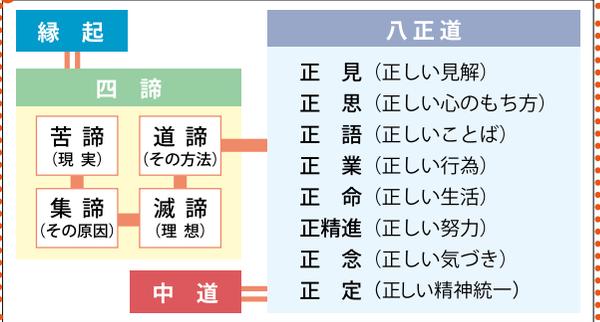
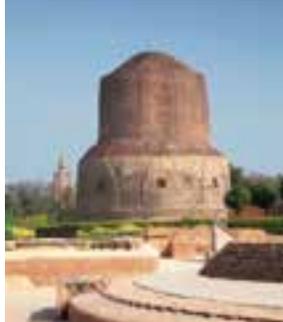
主体的な学びのための探究課題

学習のまともりごとに「探究課題」を設置。課題への取り組みを通して、倫理的な見方や考え方を身につけます

充実した学習内容，全編を通して わかりやすく丁寧な本文記述

図解は 見せかたを工夫

重要な用語を，コンパクトに整理しています



④ サールナート (初転法輪の地)

⑤ 縁起と四諦，八正道，中道の関連

四諦・縁起の説

以上の内容を，仏陀はその最初の説法 (初転法輪) において説いたという。人生は苦であるという真理 (苦諦)，苦の原因は強い執着であるという真理 (集諦)，苦の消滅とは苦の原因である強い執着の消滅であるという真理 (滅諦)，苦の消滅にいたる正しい方法は八正道であるという真理 (道諦)，これらをあわせて四諦 (四つの真理) とよぶ。

仏教の理解が深まる，流れのある記述。縁起の説のポイントを押さえます

四諦の教えには，苦の原因および苦滅の原因が示されている。何ごとにも原因によって生じ，原因によって滅するというところこそ，仏陀の悟りの内容であった。このことを縁起 (「縁って生起する」の意) という。

縁起の説によれば，あらゆる存在は，さまざまな原因が集まって，いま，仮にあらわれているものである。それらの原因自体も，さまざまな原因によってあらわれたものであるから，どの一瞬の原因も，前の一瞬とまったく同じではない。

したがって，あらゆる存在は，時とともに移り変わっていく (諸行無常)。いいかえれば，あらゆる存在には，永遠・不変の実体がない (諸法無我)。ところが，ほんとうは実体がないのに，自己がある，自己の自由になるものがある，と思って暮らすのが人間である。そのため，望みはかなえられず，はじめ喜びであったものも，のちに失われて悲しみとなる。あらゆるものが苦をもたらす (一切皆苦)。しかし，この苦は超えられなければならない。また，超えることができる。煩惱の炎が吹き消された心は，真に静かな，安らぎの状態にある (涅槃寂静)。

「諸行無常」以下，四つの命題は，法すなわち教えの四つの旗印として，「四法印」とよばれる。

難しい思想をかみくだいて具体的に説明しています

難しい思想をわかりやすく説明

難解な思想の概要をつかみやすいように、
かみくだいて具体的に記述しています。

Text 仏陀のことば (『スッタニパータ』)

- 交わりをしたならば愛情が生ずる。愛情にしたがってこの苦しみが起る。愛情から禍いの生ずることを観察して、犀の角のようにただ独り歩め。
- 妻子も、父母も、財宝も穀物も、親族やそのほかあらゆる欲望までも、すべて捨てて、犀の角のようにただ独り歩め。
- あたかも、母が己が独り子を命を賭けても護るように、そのように一切の生きとし生けるものどもに対しても、無量の(慈しみの)ころを起すべし。
- 人々は「わがものである」と執着し物のために悲しむ。(自己の)所有しているものは常住ではないからである。この世のものはただ変滅するものである、と見て、在家にとどまっていたはならない。



涅槃像 (インド クシナガラの涅槃堂)

先哲のことばを豊富に掲載!

源流思想のページでは、原典資料として、先哲のことばを豊富に盛り込んでいます

生きとし生けるものへの慈しみ 仏陀は智慧と慈悲の二本足で立つといわれる。智慧とは悟りであり、慈悲とは他者をいつくしんで楽をあたえること(慈)、他者をあわれんで苦を抜くこと(悲)をいう。

生きものはすべて、輪廻の苦しみのなかにあるが、それは本来の境界ではない。何ものであれ、いつかは解脱し、究極的な安らぎを得るべき存在である。そのように見るところに、人間のみならず、生あるすべての存在(一切衆生)に対し、へだてなく同情・共感する態度が生まれる。

3 仏教とその後の展開



部派仏教の成立

仏陀はガンジス川中流域を遍歴しながら、弟子を指導し、人々に説法して、80年の生涯を終えた。

仏陀の教えを実践する人々、すなわち仏教教団は、出家修行者と在家信者から成る。出家修行者は、世俗の生活を離れ、きびしい教団規則にしたがって修行しつつ、在家信者を導く。在家信者は、出家修行者の衣食住の世話をする。在家信者になる条件は、仏・法(教え)・僧(教団)の三宝への帰依を誓うことである(三帰)。そのうえで、もし願うなら戒を受け、持つことができる。戒とは、悪をおさえ善をなす習慣を身につけようという誓いであり、もつとも基本的なものは五戒である。

① 五戒とは、不殺生戒(生きものを殺さない)、不偷盗戒(あたえられていない他人の物を取らない)、不邪淫戒(よこしまな性的関係をもたない)、不妄語戒(うそをつかない)、不飲酒戒(酒を飲まない)、の五つをいう。在家信者の場合、みずからの力のおよぶ範囲で、このうちひとつでも二つでも受け、持つことを誓う。

世界史の学習とも連携

読み応えのある内容で、世界史で学習した知識をさらに深めます

正確な用語解説

仏教の用語には正確な解説を付しています。「何となくわかる」で終わらせず、用語をクリアに理解することで、正しい知識を身につけます

主要な思想家とその思考を 的確に押さえる

啓蒙思想から カントへ!

カントの認識論と道徳哲学について4ページを割り、詳細に記述しました

小見出しにも配慮

小見出しを工夫し、内容をつかみやすいように配慮しています

本文中に問いかけを入れ、生徒をカントの思考へと導きます

思考にいたる 過程に着目

思想家が、他者の思考をどのように受けとめ、批判・継承していったのか、ポイントを押さえた記述をしています

2 人格の尊厳と自由 —カント



啓蒙という課題と 批判哲学

啓蒙思想は、人間の理性の力によって、根拠のない権威や迷信を批判する。し

かし、その理性そのものは、どこまで信頼するに値するのだろうか。啓蒙を徹底するには、まず理性の能力を吟味する必要があるのではないだろうか。

このように考えたドイツの哲学者カントは、人間の理性が何をどこまで知りうるか、と問う。それを見定める「理性批判」が、カントの哲学の課題にはかならない。このため、カントの哲学は批判哲学（批判主義）とよばれる。

また、カントはルソーの作品から人生観を揺るがす大きな衝撃を受け、ルソーから「人間を尊敬すること」を学んだと告白している。「理性批判」と人間への尊敬が、カントの哲学の主要な二本の柱となる。

合理論から出発したカントは、ヒュームの著作を読み、とくに因果関係の批判にふれたことで「独断のまどろみ」を破られ、人間の理性の限界に気づかされた。以降のカントは、経験論は理性のはたらきを過小に評価し、逆に合理論は過大に評価していると主張して、理性批判を遂行した。

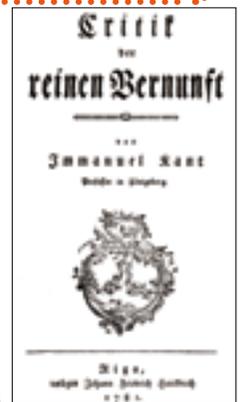
カントの名著『純粋理性批判』によれば、人間の認識の範囲は経験に限定され、とらえ得る事物は「物自体」ではなく、私たちにそのようにあらわれる現象である。認識とは、対象である「物」（客観）をそのまま受け入れるのではなく、人間（主観）のはたらきにしたがって、「物」が現象として構成されることである。すなわち、認識が対象にしたがうのではなく、対象が認識にしたがうのである。こうした認識のとらえ方の百八十度の転換を、コペルニクスの転回という。

① 『純粋理性批判』の表紙

① カントは、こうしたコペルニクスの転回を遂行しなければ、人間の理性は解決のできないアンチノミー（Antinomie, 二律背反）におちいると考えた。アンチノミーは、①世界には空間的・時間的な限界が存在するかどうか、②世界のすべてを単純な要素に分解できるかどうか、③「自由」はありうるかどうか、④「神」は存在するかどうか、の四つの問いについて生じる。



▲ カントのシルエット
(1793年 プットリヒ画)



重要事項を明確に記述

主要な思想家の生涯やその思考、思考にいたる過程、主著など、重要事項について細部まで明確に記述しています。

感性と悟性

対象を認識するためには、まず感覚があたえられなければならない。他方で、感覚を整理し、秩序づける^{わくぐ}枠組み^{がいねん}（概念）も必要である。この枠組みを、カントは、経験に先立つ^{a priori}・プリオリなもの（より先なるもの）と考えた。カントはこのように、感覚を受容する感性と、概念を形成する悟性により、認識が成り立つとした。

カントは、人間には物そのものは認識できないと説いたが、その後のドイツでは、カントの哲学をふまえつつも、そうした制限をのりこえて、絶対的なものを認識しようとする哲学者たちがあらわれた。「自我」を哲学の絶対的な原理とする^{J. G. Fichte ①}フイヒテ^{1762~1814}、「自我」と^{F. W. J. Schelling ②}客観^{1775~1854}の同一性を原理とする^{かんねん}シェリング^{1775~1854}、そしてヘーゲルへといたる、ドイツ観念論の哲学者たちである。

義務と

自律としての自由

カントの人間尊重の精神は、その道徳哲学に表現されて^{けいじしゅうがく}いる。カントは『道徳形而上学の基礎づけ』の冒頭で、人間をふくむ理性的存在者の善い意志^{ぜん}（善意志）をたたえて、「私達の住む世界はもとより、およそこの世界以外でも、無制限に善と見なされ得るものは、ただ善意志よりほかにはまったく考えることができない」と説く。たとえば、知力や体力があることは一般によいことであり、「自然の賜物」であるとされている。だが、カントはいう。「もし意志が善でないなら、折角の自然の賜物も甚だ悪性で有害なものになりかねない」。いかなる能力も用い方しだいでよくも悪くもなる。その善悪を決めるのは、意志のあり方なのである。

カントによれば、善意志とはある行為を、それが義務であるからという理由で行う意志である。行為を善いものとするのはその結果ではなく、義務であるから行うという動機なのである。このため、カントの立場は動機主義とよばれる。またカントによれば、自分の欲求のままに行動することは、自然の因果法則にしたがっているにすぎず、本当の意味で自由ではない。むしろ、自発的に義務にしたがうことこそが、自由であるとカントは考える。

① ドイツの哲学者。独自の哲学体系「知識学」を、『全知識学の基礎』などで展開し、ナポレオンの軍隊の占領下で『ドイツ国民に告ぐ』を発表した。

② ドイツの哲学者。主観と客観、精神と自然が同一であり、すべての事象が絶対者のあらわれであるとした。このような考え方はスピノザの汎神論（→ p.100）の影響を受けたもので、自然観としては汎神論的自然観ともよばれる。著書に『超越論的観念論の体系』など。

大学入試で
出題される
頻度の高い内容

原典をふまえ、
感性と悟性についての的確
に記述しています

思想史の展開をふま
えつつ、脚注もふく
めて細部まで丁寧に
説明しています

主要な思想家とその思考を 的確に押さえる

3 世界と存在そのものへ — 現象学



実存主義から 現象学へ!

フッサール・ハイデガー・サルトル・メルロ・ポンティ・レヴィナスへと展開します

共通テスト対策 もOK!

フッサールの記述では、センター試験で出題された内容をふまえています

現象学の系譜につながる思想家を、正面から取り上げます

現象学的還元と生活世界

▶フッサール

実存主義は、20世紀のドイツ

やフランスにおいて、現象学と

いう学問を理論的な支えとして大きく発展した。現象学とは、さまざまな先入見を排して、事実の真の姿、「現象そのものへ」迫るための理論である。この現象学を創始したのは、ドイツの哲学者フッサールである。

E. Husserl

1859~1938

フッサールによれば、人間の意識にはつねに、対象に向かい、世界を意味づけるというはたらき(志向性)がある。現象としての世界は、このような意識の作用とのかかわりにおいて存在しているのである。しかし、私たちのふだんの態度(自然的態度)では、世界と意識とのあいだのそうした基本的な関係が反省されないままである。そこで、フッサールは、世界の存在についての判断をいったん停止し(エポケー)、意識と世界の本質的なかかわりを厳密にとらえなおす作業(現象学的還元)を試みた。

フッサールは、くり返し現象学的還元の方法論を改良しようとしたが、最晩年には自然的態度の意義を見なおして、科学的に計量される手前の、日常的に経験される「生活世界」に、まず立ち返るべきことを説いた。こうしたフッサールの晩年の思想からとくに影響を受けたのは、のちにふれるメルロ・ポンティである。

死へとかかわる存在

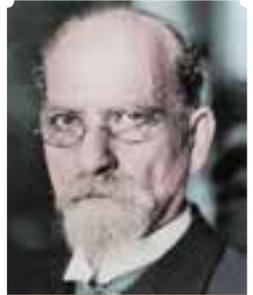
▶ハイデガー

フッサールの教え子であったハイデガーは、現象学の

方法論を用いて、古代ギリシア哲学以来の問いである

「存在とは何か」という問題を、あらためて問いなおした。ハイデガーによれば、哲学とは、存在するとはどういうことか、を問うものである。

「存在とは何か」について、すぐさま答えられる人間は誰もいない。けれども、人間は少なくとも、そもそも何かが存在するとはどういうことか、と問うことができる。存在をそのように問うことができるあり方に注目して、ハイデガーは、人間をとくに「現存在(ダーザイン)」と名づける。



フッサール

プロスニッツ生まれのユダヤ系哲学者。現象学を創始し、フライブルク大学教授に就任する。晩年はナチス政権に冷遇され、不遇に終わった。主著『イデーネ』

原典をふまえた本文記述

ハイデガーら現象学者の思考を、原典である著書をふまえて
正確に記述しています。



ハイデガー M. Heidegger

1889~1976

ドイツ西南部のバーデン州、メスキルヒに生まれる。フライブルク大学で神学を学ぶが、哲学に転じ、現象学に関心を寄せる。ギリシア哲学の理解において、パルメニデスに代表されるソクラテス以前の哲学者たちを重視した。フライブルク大学教授などを経て同大学総長に就任。ナチス政権へ積極的に協力したとして公職を追放され、復帰後は思索と執筆に専念した。主著『存在と時間』、他に『ヒューマニズムについて』など。

西洋近・
現代思想の
記述をさらに
充実させました

ハイデガーによれば、この現存在こそが、存在の問いへの通路である。現存在は日常的に、事物と、事物がかたちづくる世界にかかわり、世界のうちで他者と関係している。現存在とは、その意味でつねに「**世界内存在**」にほかならない。現存在は、世界の内に投げ出され (^{Geworfenheit}被投性)、世界の内で、世界にかかわる。具体的にいえば、世界のなかのさまざまな対象 (存在するもの。存在者)、つまり机や椅子などの個々の事物を利用し、他者を気づかい、配慮しながら存在している。

そうした日常的な生活のなかで、現存在はとりたてて「この私」という独自のあり方をしているわけではない。現存在は、日常的にはむしろ、誰でもよい誰かとして、あるいは誰でもない誰かとして存在している。ひとは誰も、誰もがそのように考えるように考え、ひとがそうするようにふるまい、みな がそう感じるように感じる。このかぎりでは、個人は、個性を欠いた世間の一員として生きているにすぎない。現存在の日常を彩るこのようなあり方を、ハイデガーは「ひと (^{sejnen}世人)」(^{das Man}ダス-マン) とよんだ。ハイデガーによれば、それは非本来的なあり方である。

けれども、ひとは、誰でもない誰かとして日常を生きているとしても、死ぬことだけは別である。死ぬことを誰かに代わってもらうことはできず、ほかならぬ、この自分として死んでゆくほかはない。そのような自己の死から目をそむけないとき、現存在はむしろ「**死へとかわる存在**」として、置き換えようのない実存として自覚される。そのとき現存在は、自分の過去のあり方と未来の姿を、それぞれにかけがえのないものとして受けとめ、時間的存在である自己を自覚するのである。ハイデガーによれば、その自覚において、現存在の本来的な自己が獲得されることになる。

主著『存在と時間』
をふまえた本文記述。
ハイデガーの思考を
辿ります

主要な思想家とその思考を 的確に押さえる

学習内容の つながりを 意識した記述

最初の段落で、これまでの学習内容とこれから学ぶ哲学者の関連をきちんと押さえます



アーレント H. Arendt

1906~75

ドイツのリンデンでユダヤ系の家庭に生まれる。ハイデガーやヤスパースの哲学の影響を受ける。ナチスがドイツを支配するとアメリカに亡命し、その後はアメリカを拠点に活動した。『イエルサレムのアイヒマン』ではユダヤ人虐殺の実行者アイヒマンの裁判を通して「悪の凡庸さ」（思考の欠如）を暴き、論争をよんだ。著書に『全体主義の起原』『人間の条件』など。

対話にもとづく公共性

▶アーレント

レーヴィットと同様に、教え子としてハイデガーから強い影響を受けながらも、独特な政治理論をつくりあげたのが、政治哲学者のアーレントである。

第二次世界大戦のあとにアーレントが取り組んだ最初の課題は、ナチズムに代表される全体主義の問題である。全体主義の危険を避けるためには、どのような政治のしくみを構想しなければならないか。これが、アーレントが政治をめぐって反省するときの、大きな導きの糸となる。

アーレントは、古代ギリシアの思想にさかのぼりつつ、人間と事物の関係としての「労働」^{labor}、道具や芸術作品などの人工物をつくりあげる「仕事」^{work}から、つねに複数の人間と人間のあいだの関係である「活動」^{action}を区別する。「活動」とは、ことばを仲立ち^{なかだち}にしてたがいに対話し合う行為であり、その「活動」によって公共性の領域^{こうきょうせい りょういき}がかたちづくられる。ただ近代以降には、この「活動」の特殊性^{とくしゅ}が見失われ、「労働」の領域が公共性を占領^{せんりょう}してしまう傾向がある。

アーレントによれば、こうした傾向に対抗して、もう一度、ことばを交わし合う「対話」にもとづいた公共性の意味を再発見してゆくことが、匿名的な大衆の支配に基礎をおく全体主義の危険を避けながら、他者を尊重する民主主義を発展させてゆくうえで大切なのである。

道具的理性

▶フランクフルト学派

全体主義の台頭という問題を見すえながら、フランクフルト学派^{M. Horkheimer T. W. Adorno}に属するホルクハイマーとアドルノ^{1895~1973 1903~69}は、共著『啓蒙の弁証法』において、啓蒙的な思想や文化を批判する。

近代の理性主義は、科学技術を生み出し、文明の輝かしい進歩を約束した。また人間の意識を啓蒙して、理性にもとづく文化の構築をめざすとともに、不合理な抑圧^{よくあつ}状態から人間を解放し、合理的な社会をつくりあげようとした。

「公共」での学習を さらに深める

アーレントの「活動」「対話」、ハーバーマスの「対話的理性」を中心に、「公共性」の意味を考察します。「公共」での学習内容をさらに深めます

それぞれの思想家のポイントを、的確に押さえます

「公共性」について思考する

レーヴィットやアーレント、ハーバーマスの思考を手がかりに、人間にとって「公共性」がもつ意味を考察します。

しかし、人間がみずからのために形成した合理的な社会は、人間による制御をはるかに超えて巨大化してしまった。そのため、逆にその社会が人間自身を支配し、管理するという状況を出現させた。また合理的な文明による自然の支配は、かえって自然による人間の抑圧をもたらす。

5 このような啓蒙の展開のなかで、理性は人間と自然とを規格化し、技術的に操作する道具的理性と化す。ホルクハイマーとアドルノは、こうした事態を理性主義の逆説ととらえ、現代社会に対する批判理論を展開した。

権威主義的パーソナリティ

フランクフルト学派から出発して、独自の社会心理学者となったE. Fromm 1900~80によれば、孤独と無力感に悩む個人は、むしろ自由を重荷と感じて、「自由からの逃走」を企てるようになる。ここにファシズムが大衆的な支持を獲得する基盤が形成され、大衆のなかに、権威を無批判に受け入れる権威主義的パーソナリティが浸透することになった。

フランクフルト学派の主張は、近代の理性主義の限界を示すことで、現代において私たちが新しいタイプの理性を模索する必要性を訴えているのである。

対話的理性

▶ハーバーマス

15 そもそも私たちは、日常生活において、人間にとって根本的な規則をふくむ日常言語を使いながら、はじめから他者とのコミュニケーションのなかで生きている。こうした、ごく身近でありながらもっとも根源的な事柄が、往々にして忘れられがちであることによって、日常の世界のなかで他者をないがしろにする傾向が生まれる。

20 フランクフルト学派の立場から出発したハーバーマスは、他者との望ましいコミュニケーションを可能とする理性の新しいあり方を、「対話的理性」に求めている。

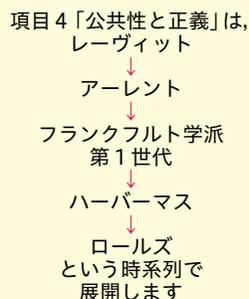


ハーバーマス J. Habermas

1929~

ドイツのデュッセルドルフに生まれる。ドイツ観念論やハイデガーの哲学を学ぶが、ホルクハイマー、アドルノらフランクフルト学派第一世代が主張した批判理論に大きな影響を受ける。やがて、第二世代を代表する社会学者として、「公共圏」「討議（ディスクール）」「理性」を軸に独自の思考を展開した。著書に『公共性の構造転換』『コミュニケーションの行為の理論』など。

時系列で思想家を学ぶ



「公共性」について考察するポイントとなる記述です

プロフィール欄の内容も充実

哲学者の生涯や主著にかんする情報を盛り込んでいます



思考を導く 原典資料を豊富に掲載

日本史との 連携を意識

日本史の学習内容との接点にも配慮しています

第2節 日本人の仏教受容

1 古代仏教の思想



聖徳太子と 仏教思想

5 聖徳太子（厩戸皇子，厩戸王）の登場とともに、仏教思想がはじめて本格的に理解されるようになった。太子は推古天皇の政治を輔佐し、大陸文化をとり入れながら、さまざまな改革に携わり、律令国家体制の基礎を築いた。

太子が制定したといわれる憲法十七条は、仏教と仏教よりやや早く伝来した儒教にもとづいて、官吏の心得を示したものである。その第一条は、政治を行う人々が重んじるべき理念として「和」をかかげている。

他の条でも、上下の者が親しみ合って議論せよ、自分の考えに異を唱える人に対しても腹を立ててはならない、自分より優れた人をねたんではならない、など和を重んじる姿勢が一貫している。

15 太子がこのように和を重んじた根底には、仏教的な人間観があった。人の目には優劣があるように見えたとしても、仏の目から見れば人はみな「凡夫」（欲望にとらわれた無知の存在）である。誰も完全無欠でないのだから、大事を決するときには独断によらず、必ず議論にかけなければならない。時代や地域の別によらず、万人が頼りにできる拠りどころは、ただ三宝のみである。すなわち、仏・法（仏の教え）・僧（仏の教えを学び修する人々）であり、この究極の拠りどころを篤く敬うべきである、と太子は説いた。

Text 憲法十七条（『日本書紀』巻22）

一に曰く、和を以て貴しとなし、忤ふることなきを宗とせよ。人みな覚あり、また達れる者少し。……

二に曰く、篤く三宝を敬へ。三宝は仏法僧なり。……

三に曰く、詔を承りては必ず謹め。君をば則ち天とす、臣をば則ち地とす。……

四に曰く、群卿百寮、礼を以て本とせよ。それ民を治むる本は、必ず礼にあり。……

六に曰く、悪を懲し善を勧むるは古の良典なり。これを以て、人の善をかくさず、悪を見ては必ず匡せ。……

十に曰く、忿を絶ち 隙を棄て、人の違ふを怒らざれ。人みな心あり、心おのおの執ることあり。……我れ必ずしも聖にあらず、彼れ必ずしも愚にあらず、共にこれ凡夫のみ。



螺鈿紫檀五絃琵琶（正倉院宝物）

仏教の用語も 正確に解説

意味をつかみにくい用語には、的確な解説を付しています

共通テストにも 出題された資料

Web ページに、現代語訳を掲載しています

思想の育まれた風土や歴史的背景もふくめて、日本の思想を詳細に記述しています。

第2節 近代的個人の自覚

1 近代的自我の成立と個人主義



文学における自己の解放 明治初期における啓蒙思想家の活動は、人々に近代市民としての自覚を促した。明治中期になると、この自覚が

5 内面的に深まり、**近代的自我**へのめざめが生じてくる。

文学の世界では、西洋文学の影響のもと、**ロマン**（浪漫）主義の運動がおこり、自我の確立、感情の解放、因習との戦い、漂泊、彼方への憧れ、夢と幻滅など、さまざまな主題をめぐり、多彩な作品が生まれた。

10 **北村透谷**は、はじめ政治に志し、自由民権運動に加わったが、やがて文学の世界に身を投じた。透谷は、人間の自由な精神を「**内部生命**」とよび、文学の目的は、根本の生命である内部生命にふれ、それを表現することにある、とした（『内部生命論』）。いいかえれば、文学とは、目に見える「**実世界**」において、功利を追求する事業ではない。内面的な「**想世界**」において、真の美に到達し、絶対的なものと感応して、それを人々に伝えることこそ、文学という営みの本質である。透谷はこのように論じて、ロマン主義運動の先頭に立ったばかりでなく、近代的文学観の成立に大きく貢献した。

15 ロマン主義運動が、本格的な開花期を迎えるのは、明治30年代、とくに詩歌のジャンルにおいてである。

北村透谷	『文学界』創刊(1893)、『内部生命論』(同)
国木田独步	『欺かざるの記』(1893～97)、『武蔵野』(1898)
島崎藤村	『若菜集』(1897)、『破戒』(1906)、『夜明け前』(1929～35)
与謝野晶子	『みだれ髪』(1901)、『君死にたまふことなかれ』(1904)
石川啄木	『あこがれ』(1905)、『時代閉塞の現状』(1913)
田山花袋	『蒲団』(1907)、『田舎教師』(1909)
永井荷風	『三田文学』創刊(1910)、『ふらんす物語』(1909)
武者小路実篤	『白樺』創刊(1910)、『新しき村』創設(1918)、『友情』(1919)
有島武郎	『或る女』(1911～19)、『生まれ出づる悩み』(1918)
志賀直哉	『和解』(1917)、『暗夜行路』(1921～37)
阿部次郎	『三太郎の日記』(1914～50)

▲ 明治・大正期のおもな文学者と作品（年次は刊行年）

Text 初恋(『若菜集』)

まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人こひ初めしはじめなり

わがこゝろなきためいきの
その髪に毛にかゝるとき
たのしき恋の盃を
君が情に酌みしかな

林檎畑の樹の下に
おのづからなる細道は
誰が踏みそめしかたみぞと
問ひたまふこそこひしけれ

大学入試で
出題される
頻度の高い内容

北村透谷の内部生命や
想世界について言及して
います

明治・大正期の文学
者では、さらに
石川啄木、夏目漱石、
森鷗外、阿部次郎ら
を取り上げています

近・現代の
原典資料も充実
させました



特色
3

思考を導く 原典資料を豊富に掲載

仏教の展開では、読解力を重視して原典資料を充実させました

仏教者をきちんと押さえる

最澄・空海に続いて、鎌倉仏教では源信、空也、法然、親鸞、一遍、道元、日蓮らが登場します

主著『正法眼蔵』をふまえた本文記述



道元

1200~53

京都出身。幼いうちに父母を失い、13歳で比叡山にのぼる。修行にはげむが満足せず、建仁寺にいたる。入宋後、如浄のもとで悟りを得て、日本曹洞宗の開祖となった。

帰国後、『正法眼蔵』の著述をはじめ。また越前(福井県)に移って永平寺を開き、坐禅と門人の指導につとめた。『正法眼蔵随聞記』は、弟子の懐奘がしるした道元の語録。主著に『正法眼蔵』、他に『永平広録』など。

禅における悟り

▶道元

末法思想や他力の信仰を批判して、坐禅による自力の救済を追究したのは道元である。坐禅とは、端座して心を統一し、対象を観ずる修行である。その起源は古代インドのヨーガにあるが、宗派としての禅宗は中国において成立した。栄西が入宋して臨済宗を伝えて以来、さまざまな流派がもたらされた。

道元は比叡山に学び、のち建仁寺で栄西門下の明全に師事し、ともに宋に入った。遍歴ののち、天童山(中国、浙江省)の如浄のもとで修行し、悟りを得て曹洞宗を伝えた。

道元によれば、人々は本来、それぞれに悟りを備えた存在である。末法思想は、人々を教化する仮の手だてとして説かれたのであり、今生の自己を見かぎり、ひたすら後生に期待するのは誤っている。ただし、悟りは人々が修行しなければはたらかず、あらわにならない。悟りを体得するためには、坐禅の修行が不可欠である。道元にとって、修行とは、ひたすら坐禅すること(只管打坐)であった。身も心もつくして坐りぬくとき、欲望など一切の束縛から解放されて、身心が自在の境地に達する(身心脱落)。悟りが生き生きとはたらいて、坐る人の目に映る景物は、存在の真実をあますところなくあらわし出し、目前の世界がそのまま悟りの世界となる。

「仏道をならふ、といふは、自己をならふ也。自己をならふ、といふは、自己をわするるなり」と道元はいう。仏道を修行するとは自己を修行することであり、自己を修行するとは自己を忘れることであり、そのとき、目前のあらゆるものによって、悟りの世界が開かれてくるのである。

① 備中(岡山県)に生まれ、比叡山で台密(天台宗の密教)を学んだ。幕府の帰依をうけて建仁寺を開き、天台・真言・禅三宗兼学とした。主著『興禅護国論』。

豊富な原典資料と具体的な説明

日本の仏教の展開では、主要な仏教者とその思想を資料とともに学びます。

Text 悟りの世界 (道元『正法眼蔵』)

- 仏道をならふ、といふは、自己をならふ也。自己をならふ、といふは、自己をわするるなり。自己をわするる、といふは、万法に証せらるるなり。万法に証せらるる、といふは、自己の身心および他己の身心をして脱落せしむるなり。(『正法眼蔵』「現成公案」)
- それ、修証はひとつにあらざるとおもへる、すなはち外道の見なり。仏法には、修証これ一等なり。いまも証上の修なるゆゑに、初心の辨道すなはち本証の全体なり。かるがゆゑに、修行の用心をさづくるにも、修のほか証をまつおもひなかれとをしふ、直指の本証なるがゆゑなるべし。すでに修の証なれば、証にきはなく、証の修なれば、修にはじめなし。(同上「辨道話」)

◎ 坐禅する僧の姿 (福井県 永平寺 大本山永平寺提供)



Web ページに現代語訳を掲載

この資料のほかにも、悪人正機の教え(→教科書 P.161)、漢意の排除(→教科書 P.175)など、原文を掲載した資料については、その現代語訳を Web ページに提示しています(→ PP.36~37)

道元において、坐禅の修行は、悟りを体得するためのたんなる手段ではなかった。悟りは坐禅のうちのみあらわれ、坐禅はそのまま悟りの体得である。修行と悟りの体得(証)は、不二一体なのである(修証一等)。仏教の真髓(正法眼蔵)は、このような修証のうちにある、と道元は信じた。

- 5 釈迦が見だし、祖師たちが脈々と伝えてきた仏教の真髓を、いま如淨からたしかに受けついで(仏祖正伝)という信念のもとに、道元は門下の教育や主著『正法眼蔵』の述作に力をそそいだ。

法華経への信仰

▶ 日蓮

個人の救済を求めただけでなく、為政者に強くはたらきかけ、社会全体の救済を志したのは、日蓮である。日蓮

- 10 は比叡山で伝統的な『法華経』解釈を学んだのち、新たな『法華経』観をもって教えを体系化し、日蓮宗の開祖となった。

日蓮によれば、末法の世において、依るべき唯一の經典は『法華経』である。『法華経』こそ、釈迦の究極の教えであり、その題目には釈迦の備える功德(善行の成果)の全体がこめられている。

- 15 このように信じた日蓮は、心をつくして「南無妙法蓮華経」と唱えれば(唱題)、人はその功德を譲りあたえられ、誰でも仏となることができると説いた。そして、正しい教えである『法華経』が興隆すれば、災いが払われ、国土の安穩が実現するとして、『立正安国論』をあらわした。

本文と原典資料、原典資料と現代語訳とをあわせて読み込むことで、思想への理解を深めます



特色
3

思考を導く 原典資料を豊富に掲載

丸山真男の 資料を掲載

戦後の思想界をリードした思想家・丸山真男の資料を掲載。古代から近・現代まで、さまざまな資料を読み込むことで思考の幅を広げます

3 現代日本と私たちの課題



Text 無構造の伝統——「伝統」思想と「外来」思想 (丸山真男『日本の思想』)

私達の思考や発想の様式をいろいろな要素に分解し、それぞれの系譜を遡るならば、仏教的なもの、儒教的なもの、シャーマン的なもの、西欧的なもの——要するに私達の歴史にその足跡を印したあらゆる思想の断片に行き当るであろう。問題はそれらがみな雑然と同居し、相互の論理的な関係と占めるべき位置とが一向判然としていないところにある。そうした基本的な在り方の点では、いわゆる「伝統」思想も明治以後のヨーロッパ思想も、本質的なちがいは見出されない。近代日本が維新前までの思想的遺産をすべて「欧化」したことが繰り返され（そういう慨嘆もまた明治以後今日までステロタイプ化している）けれども、もし何百年の背景をもつ「伝統」思想が本当に遺産として伝統化していたならば、そのようにたわいもなく「欧化」の怒濤に呑みこまれることがどうして起りえたであろう。

敗戦と

抛りどころの喪失

第二次世界大戦の敗戦によって、明治以来、日本の近代化を支えてきた権威や価値観が崩れ去った。抛りどころが失われた崩解感覚に苦しみながら、人々は新たな価値観や秩序を模索した。

小説家の坂口安吾は、敗戦後の道徳的な頹廃を見つめて『墮落論』をあらわし、「墮ちる道を墮ちきる」ことにより、偽り飾ることのない自己に根ざした道徳を回復することを訴えた。

敗戦は、日本の近代化のあり方や戦前のさまざまな思想への反省を促す契機となった。マルクス主義など戦時中に弾圧された思想が復活し、多様な立場から国家や民族を問いなおす議論がおこった。政治学者の丸山真男は、超国家主義を生み出した思想的な土壌には、新旧さまざまな異質な思想が、対決・整序を経ないまま、漫然と雑居している「無構造の伝統」があると指摘した。丸山は、戦前から取り組んでいた日本思想の研究を通して、民主主義を担う主体的な個人を確立する手がかりを模索し、『日本政治思想史研究』などをあらわした。

① 自己が崩れ去っていく感覚に苦しむ復員学徒兵の内面を描いた野間宏(1915～91)の小説『崩解感覚』（「崩解」は作者の造語）に由来する。

資料とリンクした 本文記述

「倫理」学習では、本文や原典資料から何を読み取り、どう考えるかが問われます



丸山真男

昭和期の政治学者。著書に『日本政治思想史研究』『日本の思想』、論文集に『現代政治の思想と行動』など。

日本の近・現代思想の記述も充実 明治・大正期から現代にいたる思想家の記述も 充実しています。



小林秀雄

昭和期の批評家。著書に『様々な意匠』『無常といふ事』『本居宣長』など。翻訳に『地獄の季節』（ランボー）など。

P.197

主体性の確立 ▶小林秀雄

昭和期に入ると、西洋近代思想の影響のもとに形成された自己のあり方に対する懐疑が提出されるようになった。

評論家の小林秀雄は、『様々な意匠』のなかで、新奇な思想や理論を、流行の意匠（デザイン）を追うようにもはや知識人の軽薄さを批判した。そして、芸術家の直観がとらえた生の手ごたえを、哲学的思索によってつかむことを試み、批評という新しい思想スタイルを創造した。私たち一人ひとりが真剣に生きているそのことのなかからくみあげられ、創造されるものだけが、真に主体的な思想の名に値すると考えたのである。

また、詩人の吉本隆明^{よしもとたかあき}は、戦時中の知
1924～2012
な弱さへの反省から、大衆の実生活のな
ろに、自立した個の基礎をすえることを
の生み出す共同的な観念のあり方として
『同幻想論』へと発展した。

思想を ふり返る意義

戦後、日本国憲法^{けんぽう}の
として出発した日本では、科学技術のめざましい発展と
高度経済成長を経て、人々は豊かで便利な生活^{きょううじゆ}を享受するようになった。

だが1990年代以降、社会構造が大きく変わり、経済的停滞^{ていたい}が長引くにつ
れて、非正規雇用の増大、所得格差の拡大、地方の衰退、少子高齢化と人口
減少など、隠れていた問題が表面化してきた。また近年では、地震や豪雨^{こうう}
による大規模な災害の発生、感染症の流行^{すいたい}など、予測することの困難な事態
にも見舞われている。温暖化などの地球環境問題^{ちきうかんげい}、グローバル化の進行とその
反動など、国際社会が直面している諸課題に対しても、その解決に向けて、
私たち一人ひとりが考え、取り組んでゆくことが求められている。

私たちは、過去^{せきお}を背負い、未来を切り開く存在である。私たちのあり方や
生き方には、過去の人々のあり方や生き方により、形成されてきた部分があ
る。また、私たちのあり方や生き方は、未来の人々に、どこかで影響をあた
えずにはいない。過去の思想をふり返り、受けつぐべきよさや、克服すべき
課題を自覚することは、現代を生きる私たちに課せられた責務といえよう。

探究課題 18

- この節で扱った思想家・文学者のいずれかの作品にふれ、そこでどんなことが問われ、何が主張されているのか、考えてみよう。
- 現代日本の諸課題に取り組むとき、先人たちの知恵に何を学べるだろうか。西洋近代思想の価値観はもとより、古来の美意識や宗教観、道徳的価値観など、さまざまな考え方を手がかりに、課題解決の手立てを探ってみよう。

① 2011年3月11日、東日本大震災が発生した際には、地震と津波で機能を失った福島第一原子力発電所から放射性物質が大量に放出され、土壌や海洋を広範囲に汚染して、甚大な被害をあたえている。

昭和期の思想家では、
評論家・小林秀雄も
登場します

思想を現代に 結びつける 視点

思想の学習をふまえて、
これからの社会につい
て、主体的に考える姿勢
を打ち出します

学習の 深化をうながす 探究課題

倫理的な見方や考え方
を身につけ、深い学びへ
と導きます



特色
4

思想を「今」に結びつけ、 現代の諸課題をとらえる

第1章

自然や科学技術をめぐる諸課題



谷津干潟と水鳥（千葉県習志野市） 谷津干潟は、1993年にラムサール条約湿地として登録された。ラムサール条約とは「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」のことで、湿地の生態系保全を目的としている。

導入箇所に
本文と関連する
写真や資料を提示

1 環境と倫理



◇第5編の構成

第5編では、学習指導要領に示された諸課題を探究します。

第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題

1. 環境と倫理
2. 生命と倫理
3. 科学技術の発展とその課題

第2章 社会や文化にかかわる諸課題

1. 文化や宗教の多様性と倫理
2. 国際平和と人類の福祉

自然、生命、科学技術と人間とのかかわりについて、倫理的な観点から問いかけます

変わりゆく自然観

私たち人間は、自然のなかで、その一部として生きる存在である。古来人々は、私たちがそこから生まれ、そこへと帰っていく大いなる自然を深く畏れ、敬ってきた。また、私たちはしばしば、自然の形象や、自然に内在する調和と秩序に、美や技術の理想を見だしてきた。何かものをつくり出すとき、私たちは基本的に自然を範とし、自然を模倣してきたのである。

しかし、私たちの自然に対する見方は、科学技術の発達とともに大きく変化してきている。近代以降、自然は畏敬の対象であるというよりは、むしろ、法則の把握と応用を通して人間が支配し、利用すべき対象と見なされるようになった。人間はみずからの目的に合わせて自然のあり方を大きく改変するようになり、現代では、地球環境や生態系に甚大な影響が生じている。

問いなおされる 人間のあり方

だが、私たち人間は、本当に自然の支配者となったのだろうか。たしかに、私たちは自然の脅威に対し、かつてのように無力ではない。科学技術によって、災害や感染症などのリスクを、ある程度は低減させることが可能になった。しかし、リスクをゼロにできているわけではまったくない。また、そもそも私たちの生が、死をはじめとする自然の制約を受けているという根本的なあり方に変わりはない。

現代の諸課題における倫理的な観点を、 本文で明確に提示しています。

科学技術そのものもまた、自然の内において、自然の支配を受ける事象のひとつである。たとえば蒸気機関は、蒸気の圧力や往復運動、回転運動などの物理現象を組み合わせられてつくられている。そのように、科学技術は自然界におこる現象を再現したり組み合わせたりして利用する技術であって、そもそも自然現象そのものを生み出す技術ではないのである。

人間は、自然から離れては生きられない。一方で、人間はただ自然に埋没する存在でもない。科学技術が急速に発達している今日だからこそ、私たちには、自然とどうかかわりつつ生きるべきかという、人間としてのあり方の根本を問いなおすことが求められている。



④ プロメテウスの火 ギリシア神話では、天上界から火を盗み出したプロメテウスによって、人間は火をあたえられる。火は、道具の製作にはじまる人間の「技術」の根源となった。

環境倫理の登場

私たち人間とのかかわりにおいてとらえられた自然を、自然環境あるいはたんに環境とよぶことができる。環境とは私たちが自分の生命を実現してゆく場であり、和辻哲郎がいうように、とくに風土としての環境は、人間の生活や習慣、文化によって形成されてきたものである。たとえば寒さという気候現象も、寒暖計で測定されるただの自然現象ではない。衣服を着、暖房を入れ、燃料や衣服を得るために労働することのすべてが、寒さについての私たちの経験そのものなのである(『風土』)。けれども皮肉なことに、現在では、そのように快適な環境を手に入れようとする人間の努力そのものが、環境を破壊する可能性も指摘されている。たとえば、冷暖房の過剰な使用は環境を汚染し、地球温暖化をまねく要因のひとつであるといわれる。科学技術の恩恵によって、自然にかかわり、自然を私たちにとってより快適な環境に変えてゆくこととする営みについて、その限界が指摘されつつある。これは、自然から絶えまなく恵みを受けとらなければ存続できない私たち人間にとって、きわめて重大な問題である。

ここからは、環境倫理とよばれる議論を中心に、人間と自然のかかわりをめぐる問題を考えてゆくことにしよう。

① 環境倫理の議論の背景には、公害、資源の減少、国境を越えた環境汚染、砂漠化の進行、酸性雨、地球温暖化など、地球環境の危機(地球環境問題)が指摘されている現代の状況がある。

写真を活用して 思考する

生徒の興味や関心を引き出しつつ、科学技術をめぐる現代の課題に目を向けさせます

課題を 自分の事として とらえる

これまでに学習した思想とも関連づけて、生徒が現代の諸課題を自分の事としてとらえることができるよう、記述を工夫しています

倫理的な観点を押さえつつ、課題の探究へと向かいます

思想を「今」に結びつけ、 現代の諸課題をとらえる

第2章

社会や文化にかかわる諸課題

第5編では
資料を読み解く力
を重視しています

多様性をキーワ
ードに、宗教や文化、
社会にかかわる諸
課題を考察します

思想を「今」に 結びつける視点

これまで学んだ思想と
現代社会とのつながり
を意識させる記述。
確かな知識のうえに、
現代の諸課題を探究
します

▶ アイヌ古式舞踊
(2020年 北海道白老町) アイヌ民族の信仰
に根ざした芸能。祭り
や家庭の行事の際に踊
られ、アイヌの人々に
継承されている。2009
年、ユネスコの無形文
化遺産に登録された。



1 文化や宗教の多様性と倫理

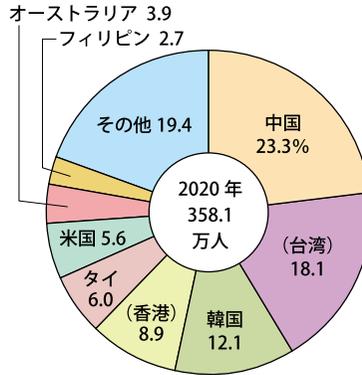
文化と社会の 多様性

人々が一定のまとまりをなして生活しているところに、その成員が共有する生活の知恵や様式の体系、すなわち文化がある。地域のまとまりには、それに対応する地域文化があり、民族にはそれぞれ固有の民族文化がある。たとえば、文化的要素のひとつである言語を、民族を数える尺度としてみると、世界に、5,000から8,000あるといわれる言語にほぼ見合った数の民族があり、その文化があることになる。

民族を超えて伝播する普遍的性格があるため、数はこれほどではないが、聖なる価値を中心にして人々の生き方を律するものである宗教の多様性にも注目しなければならない。世界には、先に学んだキリスト教・イスラーム教・仏教のほか、ユダヤ教、ヒンドゥー教、そしてアフリカ、南北アメリカ、オセアニアの先住民の諸宗教的伝統、その他民族宗教や民間信仰などの多様な宗教が、人々の祈りの心から求められ、人々の生を支えている。

言語や民族、宗教の多様性は、そのまま人間の多様性でもある。それらは既存の国家の枠組みには収まりきらず、世界のほとんどの国家は、内部に複数の言語・民族・宗教を抱える多言語・多民族・多宗教国家である。日本も、その例外ではない。今日、日本の社会には複数の民族が居住し、その民族固有の文化が、そして宗教が存在している。

多様な視点から現代の諸課題を掘り下げ、生徒を主体的な思考へと導きます。



統計資料もふくめ、本文と関連する資料を掲載。さまざまな視点から、現代の諸相を読み解きます

外国人入国者数, 日本人出国者数の推移 (2021年 法務省調べ)

日本にはじめて入国した外国人の国・地域別割合 (法務省調べ)

ヒトやモノや情報が国境を越えて大量に行き交うグローバル化 (グローバルイゼーション) の時代にあつて、異なる文化あるいは宗教どうしが接触する機会が、かつてないほど頻繁になってきている (多文化・宗教状況)。それにともない、異なる文化や宗教への無理解から生じる緊張や葛藤 (文化・宗教摩擦) も、しばしば問題となっている。これらは、ときに民族間、宗教間の対立をまねき、深刻な紛争を生じさせる要因ともなる。私たちが、これからの社会で生きるためには、広い視野から異なる文化や宗教の存在を認め、それらを理解しようとする努力が必要不可欠である。

人間の多様性を尊重する視点

生徒が社会的な課題を掘り下げ、自分の問題として思考を深めていくことができるよう、記述と紙面構成に配慮しています

多元主義の倫理

人はみな、自分の生まれ育った文化のなかで、常識や価値観を身につけてゆく。さまざまな文化は、そのなかで

生きる人々のかけがえのない生をかたちづくる。自己を形成した文化が自明のものであるのに対し、異なる文化は、しばしば不可解で常識には

れたものと感じられる。異なる文化に (ク) が、相手への差別・偏見を生み

自分の身についた民族文化を無意識で異文化をとらえようとする見方を、自己という。この見方の弊害は、自分たちを差別・排除する同化主義を生

① たえば、パレスチナ生まれの思想家・芸術家、客観的な見方とされている東洋・西洋という方 (オリエンタリズム) がつくりあげたものであ

多様性の尊重と共生

世界中に数多くの宗教や文化が存在することは、人々の生き方や価値観が多様であることを示している。人間の多様性は文化や宗教にはとどまらない。同じ文化や宗教に属していても、人々のあいだでは、世代、性、障害の有無などにさまざまな差異がある。こうしたたちがいにもとづく偏見や差別も、克服しなければならない課題である。

性的少数者への配慮

性にかんする偏見や差別について、従来は、男女の平等や女性の地位向上が主要な問題であった。LGBTという考え方に見られるように、近年では、男女という二分法にとらわれない性のあり方も認めて尊重しようという声があがっている。こうした声に対しては、伝統的な性のあり方を守ろうとする主張がある一方で、セクシャルマイノリティ (性的少数者) への配慮と権利の擁護をめざす取り組みも増えている。



生徒の興味や関心を 引き出す 9つの特集ページ

思索の広場 1

対話 思考の可能性をひらく

話題性の高い
9つのテーマを設定

第2編で学習した
ソクラテスの哲学を
ふまえつつ、対話に
ついて掘り下げます

生きていくうえで
誰しも体験するよう
な瞬間をとらえて、
その根幹にあるもの
を表現しようとする
記述です

人間や世界のあり方の根本を深く考えようとするとき、対話というものは私たちにとって、きわめて重要な手法であり続けてきた。たとえば、ソクラテスの哲学がまさに対話によって紡がれていたという事実は、この点をとともよくあらわしているといえるだろう。

ソクラテスが街頭で実践した問答法には、おおよそ次のような特徴がある。

- ①ある問題（幸福とは何か、善とは何か、など）について、相手がぼんやりと抱いているイメージを、主張として明確化させる。
- ②相手の主張を正面からは否定せず、代わりに、問答に関連する別の主張をいくつかとりあげ、相手の同意を求める。
- ③いま自分が同意したいいくつかの主張と、自分の元来の主張が整合していないということを、相手に気づかせる。
- ④その気づきを通して、相手が自分の主張の矛盾やゆきづまりをすすんで認め、問題についてあらためて自分で深く吟味していくように促す。

このように、ソクラテスが市井の人々と交わした対話は、たんに自分の主張を通すとか、相手を論破するといったことを目的とするのではなく、むしろ、相手の発することばをよく聴き、そのことばを発展させてゆくことが出発点となる。そして、相手が自分の考えの甘さや未熟さを自覚し、自分で新たな考えを生み出してゆく手助けとなることを目的にしている。それゆえ、ソクラテスの問答法は助産術ともよばれるのである。

対話とは、自己と他者の新しい思考の可能性をひらく創造的な営みである。ひとりで頭を悩ませている間はわからなかったのに、誰かに質問や相談をしていくなかで、「ああ、この問題はそういうことだったのか」と自分で気づいた経験はないだろうか。誰かに向けて話したり書いたりしていくなかで、自分では思いもよらなかったアイデアが出てきた経験はないだろうか。

「考えるとは、誰かに向かってゆくことのようなものだ」（『哲学探究』）。現代の哲学者ウイトゲンシュタインがこう語るように、私たちがことばで何ごとかを考えて意味するということの基本は、誰かに向かってゆくこと、誰かとともにすることなのである。

特集ページ「思索の広場」

本編の学習内容と関連の深い特集ページ「思索の広場」を、各所に設けました。
時代や地域の枠を超えて東西の思考をとらえます。

死者の靈魂の行方

世界信仰をめぐる

思索の広場

7

死後も靈魂は消え去ることなく、^{かなた}彼方の他界におもむいたり、生まれ変わったりして存続するという考えは、古くは、洋の東西を問わず存在した。

『古事記』における黄泉や常世は、山中や海上に想定された他界であった。

5 『出雲国風土記』によれば、とある海辺の磯（岸壁）に洞窟があり、その奥にさらに穴があって、黄泉への入り口だと信じられた（出雲の郡宇賀の郷）。

平安時代初期の説話集『日本靈異記』には、輪廻転生（りんねてんじゆう）の話が収められている。ふとしたきっかけで自分の前生を知った人が、前生に暮らした家を訪ね、今生だけでなく、前生の親にも孝養をつくしたという（上巻 第18話）。

10 浄土教の広がりとともに、さまざまな浄土教美術が盛行し、他界イメージも大きく変容した。「当麻曼荼羅」^①は、説法する阿弥陀仏を中心に、楼閣や蓮池に集う無数の菩薩を描き、壮麗な浄土の景観を表現する。他方、庶民の他界観をよく示すのは「熊野観心十界図」（「熊野観心十界曼荼羅」）である。

図の上方の半円、向かって右から

15 左に、出生から死にいたる人の一生が描かれ、その先には閻魔王の庁（役所）が待ち受ける。さらにすすむと、六つの迷いの世界と四つの悟りの世界があり、どこに行くかはみずから
20 の心次第ということが、中央の「心」の字で示される。



▶ 「熊野観心十界曼荼羅」（金陵山西大寺所有 岡山県立博物館所蔵）中世末期以降、熊野比丘尼とよばれる女性の宗教者が諸国をめぐり、絵解きを行って広めた。迷いの世界とは、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人の六道。それぞれの世界の入り口を鳥居が示す。悟りの世界とは、声聞・縁覚・菩薩・仏の四聖道。「心」の字の周りに、雲に乗る仏と菩薩、僧形の声聞と縁覚が描かれている。

① 唐の善導の『観無量寿経疏』にもとづき、観想念仏を行うために描かれた。奈良（あるいは唐）時代にさかのぼる原本が伝わるほか、鎌倉時代以降、多くの転写本がつくられた。

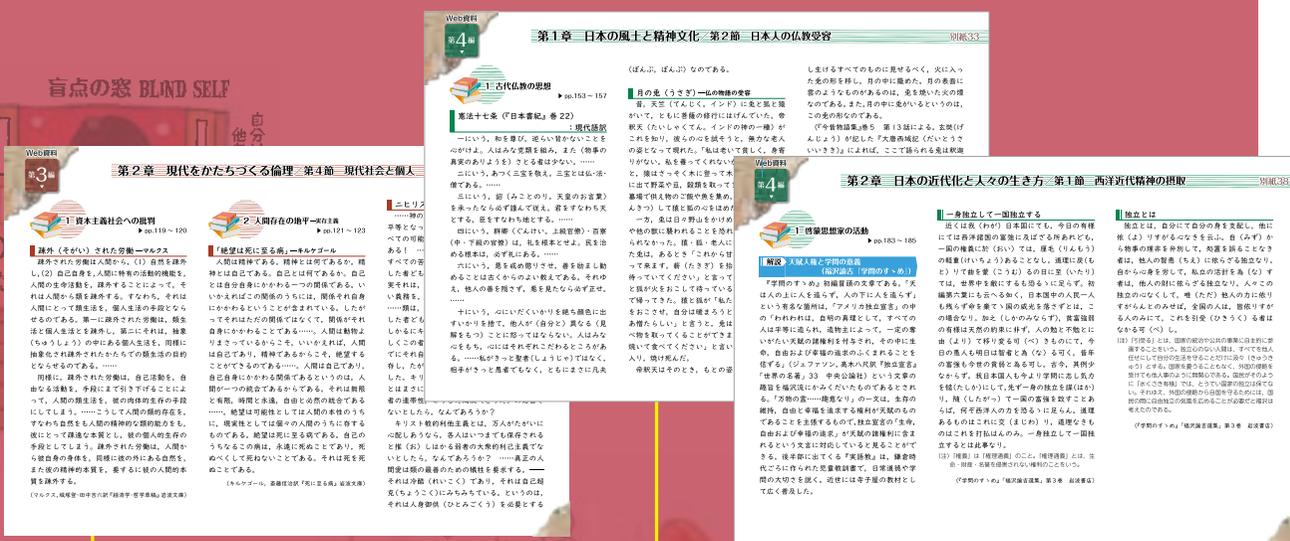
◆特集ページ「思索の広場」

1. 対話: 思考の可能性をひらく
2. 美をめぐる判断: 美と倫理とのつながり
3. 超越的存在: 東西の神
4. ルネサンスの神秘主義と近代科学: 占星術・自然魔術・錬金術
5. 幸福: 幸福とは何か
6. ことば: ことばとともにあること
7. 死者の靈魂の行方: 他界信仰をめぐる
8. 時間: 流れと永遠
9. 自然: 生命的自然と物質的自然

写真から日本人の信仰を読み解く

「倫理」学習では、文章や写真などから何を読み取り、どのように考えるか、読解力・思考力が問われます

教科書の内容を補完する133のコンテンツを収録、より深い学びを促します。



- ◆ 原典資料:「知は力なり」
- ◆ 原典資料: 帰納法
- ◆ 原典資料:「私は考える、ゆえに私はある」
- ◆ 原典資料: 人間の自然状態
- ◆ 原典資料: 抵抗権・革命権
- ◆ 原典資料: 人間の不平等の起こり
- ◆ 原典資料: 道徳法則の基本法式
- ◆ 原典資料: 人格の尊厳
- ◆ 原典資料: 自由の実現
- ◆ 原典資料: 功利の原理
- ◆ 原典資料: 功利主義の道徳
- ◆ 原典資料: 疎外された労働
- ◆ 原典資料: 絶望は死に至る病
- ◆ 原典資料: ニヒリズムとキリスト教
- ◆ 原典資料: 現存在
- ◆ 原典資料: 死へとかわる存在
- ◆ 原典資料: 実存が本質に先立つ
- ◆ 原典資料: フェミニズム
- ◆ 原典資料: 〈他者〉の顔
- ◆ 原典資料: 活動
- ◆ 原典資料: 新しい野蛮状態
- ◆ 原典資料: 対話的理性
- ◆ 原典資料: 原初状態
- ◆ 原典資料: 生命の躍動
- ◆ 原典資料: 自我・エス・超自我
- ◆ 原典資料: 野生の思考
- ◆ 原典資料: 脱構築
- ◆ 原典資料: 語りえないことについては、沈黙しなければならない
- ◆ 原典資料: 言語ゲーム
- ◆ 原典資料: まればと
- ◆ 原典資料: 霊魂の行方
- ◆ 原典資料: 先祖祭り(1)(2)
- ◆ 憲法十七条・現代語訳
- ◆ 資料: 月の兎
- ◆ 原典資料: 法然のことは
- ◆ 悪人正機の教え・現代語訳
- ◆ 悟りの世界・現代語訳
- ◆ 原典資料: 日蓮のことは
- ◆ 原典資料: 士の職分
- ◆ 原典資料: 仁愛の思想
- ◆ 原典資料: 先王の道
- ◆ 原典資料: 真心と漢意
- ◆ 漢意の排除・現代語訳
- ◆ 原典資料: もののおはれ
- ◆ 解説: 天賦人權と学問の意義
- ◆ 原典資料: 一身独立して一国独立す
- ◆ 原典資料: 独立とは
- ◆ 原典資料: 「戦争廃止論」
- ◆ 原典資料: 『みだれ髪』より一与謝野晶子
- ◆ 原典資料: 君死にたまふことなかれ
- ◆ 原典資料: 『一握の砂』より一石川啄本
- ◆ 原典資料: 水平社独立宣言
- ◆ 原典資料: 純粹経験

(以下、略)

教科書



高等学校 新倫理 ワークノート

教科書完全準拠ノート

- ▶ 判 型：B5判
- ▶ ページ数：184ページ 解答別冊
- ▶ I S B N：978-4-389-61058-6
- ▶ 価 格：書籍のみ 定価759円(税込)
- Libryのみ 定価759円(税込)
- Libry + 書籍 定価1,309円(税込)

- ☑ 「高等学校 新倫理」に準拠した、**学習内容整理のためのワークノート**。
- ☑ 教科書本文にそった空欄補充ページでは、**空欄に書き込むことで基礎を確実に習得**します。授業の予習・復習に最適です。
- ☑ 単元ごとに**応用問題として、大学入学共通テスト・センター試験の過去問や論述問題**を掲載しました。

第3編 現代をかたちづくる倫理

第2章 世界と人間をめぐる探究 第4節 現代社会と個人

30 公共性と正義 (1)

教科書 pp.129~132
別冊解答 p. ●

基礎力 up!

■ 役割存在としての自己 ▶レーヴィット

- (1)人間にとって 1 ともつ意味をとらえ返そうとしたのが、2 のもとで学んだユダヤ系の哲学者 K. レーヴィットと、H. アーレントである。
- (2)レーヴィットは、ラテン語の「3」に注目した。この語はもともと「4」を意味することばで、さらにさかのぼれば「仮面」を、また人々が日常のなかで身につけ、演じることになる「5」を意味している。
- (3)6 とは、人間にとって公共的なあり方、他者たちのあいだに存在するあり方が問われる場面であるが、そこで私は他者たちと絶えずかかわり、そのかかわり合いのなかで、一定の 5 を引き受けて行為している。
- (4)他者たちとの関係のなかで、他者に対応し、他者との関係に応じてゆくこと、つまり 7 し 8 をもつことが、人間にとって日常的な 1 の核となる事からなのである。

■ 対話にもとづく公共性 ▶アーレント

- (5)アーレントが取り組んだ最初の課題は、ナチズムに代表される 9 の問題で、その危険を避けるためにどのような政治のしくみを構想しなければならないか、である。
- (6)アーレントは、古代ギリシアの思想にさかのぼりつつ、人間と事物の関係としての「10」、道具や芸術作品の人工物をつくりあげる「11」から、つねに複数の人間と人間のあいだの関係である「12」を区別する。
- (7)「12」とは、ことばを仲立ちにしたいがいに 13 し合う行為であり、「12」によって 1 の領域がかたちづくられる。
- (8)アーレントは、ことばを交わし合う「13」にもとづいた 1 の意味を再発見してゆくことが、9 の危険を避けながら、他者を尊重する 14 を発展させてゆくうえで大切だとする。

■ 道具的理性 ▶フランクフルト学派

- (9) 9 の台頭という問題を見すえながら、フランクフルト学派に属する 15 と 16 は、啓蒙的な思想や文化を批判する。
- (10)近代の 17 は、科学技術を生み出し、文明の進歩を約束して人間の意識を啓蒙し、理性にもとづく文化を構築して合理的な社会をつくりあげようとした。
- (11)しかし、合理的な社会は、人間による制御を超えて巨大化し、逆に人間自身を支配し、18 という状況をもたらし、合理的な文明による 19 は、自然による人間の抑圧をもたらした。
- (12)理性は人間と自然とを規格化し、技術的に操作する 20 と化する。

Person

レーヴィット…ナチスから逃れて来日し、東北大学で教壇に立った。日本文化を「2階建て（階下で日本的に考え、2階でヨーロッパの学問が並べられている）」と評している。

Keyword

ペルソナ…人格、位格と訳され、仮面、役割、役柄などの意味とともに、性格や人格をも意味する。

Approach

全体主義…ナチズム、スターリニズムなどに代表される、テロルとイデオロギーに支配された社会。

アーレントの労働・仕事・活動…主著の一つである『人間の条件』で説かれている。

Keyword

フランクフルト学派…1930年代以降、フランクフルト社会研究所を中心に活動した研究者集団。ナチスにより解散させられるが、戦後はドイツ哲学を代表する存在となった。

教科書の本文に沿った空欄補充で重要事項をマスター

サイド欄の解説

Person

Keyword

Approach

で、理解を深めます

タブレット端末からご利用いただけるデジタル版もご用意しています!



デジタル教材プラットフォーム



紙の書籍を買うとシンプルな電子版が無料で使える
デジタル教材サービス対応【スタディプラス】

詳しくはこちら! <https://book-code.studyplus.jp/>



問題検索, 学習履歴のデータ活用など多数の機能で
学習の幅が広がるデジタル教材版【リブリー】

詳しくはこちら! <https://libry.jp/>



書籍購入済
+550円

▶ 理解力 up!

フランクフルト学派

世代	人物	理性のとらえ方	共著または主著
第一世代	〔①〕 アドルノ	〔②〕 として理性主義を批判	『〔③〕』
第二世代	〔④〕	〔⑤〕	『コミュニケーション的行為の理論』

単元の内容を整理,
学んだ知識を
確実に身につけます

▶ 確認しよう!

① 次の文章を読み, その説明として適当なものは, ①と②のどちらか。(2015・本試改)

啓蒙とは, 呪術的世界観から人間を解放することを目指す営みであった。それまでの神話を解体し, 知識によって空想の権威を失墜させようとしたのである。とはいえ, 様々な神話は, それ自体も啓蒙自身が作り出したものだった。事物が科学的に計算されるものとなると, かつて神話が与えていた説明は, 無効を宣告される。神話は啓蒙へと移行し, 認識する主体は自然を客体として支配できるようになる。こうして, 概念に捉えきれないものは切り捨てられ, 首尾一貫した体系が作り上げられる。

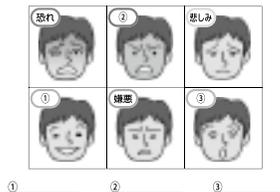
啓蒙が事物に対して取る態度は, 独裁者が人間に対して取る態度と変わるところはない。独裁者が人間を認識するのは, 彼が人間を操作することができる限りである。科学者が事物を認識するのは, 彼がそれらを製作することができる限りである。(『啓蒙の弁証法』より)

- ① 神話とは異なり, 科学は確実な知識の獲得を目指す, 非論理的にみえる神話的思考も啓蒙と無縁だったわけではない。啓蒙の根底には, 知識を得ることによって, 対象を効率的に操作しようとする意図がある。
- ② 啓蒙は, 神話を否定的に捉えるとはいえ, 神話の基底にある説明の機能に関しては積極的に評価する。こうして神話は啓蒙へと移行し, さらなる進歩が可能となり, 自然は科学者にとって客体となったのである。

近年の共通テストの
傾向をふまえた
読解力を問う出題。
初見の問題にも対応
できる, 確かな実力
を培います

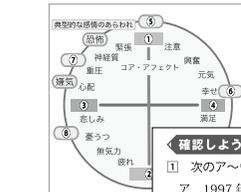
▶ 理解力 up!

① エクマンの6つの基本的感情



① _____ ② _____ ③ _____

② ラッセルによる感情の円環モデル



① _____ ② _____
④ _____ ⑤ _____
⑦ _____ ⑧ _____

▶ 確認しよう!

① 次のア〜ウの文章で, 正しいものには○, 誤りのものには×をつけよ。(2014・本試改)

- ア 1997年に開かれた地球温暖化防止京都会議では, 京都議定書が締結され, 先進国だけに温室効果ガスの排出量削減目標が定められた。
- イ アメリカの海洋生物学者カーソンは, 『静かなる革命』のなかで, 農業など有害な化学物質の大量使用が, 生態系の破壊につながると警鐘を鳴らした。
- ウ 1992年に開催された地球サミットでは, 宇宙船地球号という考え方によって, 地球環境の持続性を損なわない範囲での経済開発が提唱された。ア-() イ-() ウ-()

入試レベルの問題から, 図解の空欄に書き込む問題など, さまざまな問題のパターンにふれることで, 応用力を養います

副教材データダウンロードのご案内

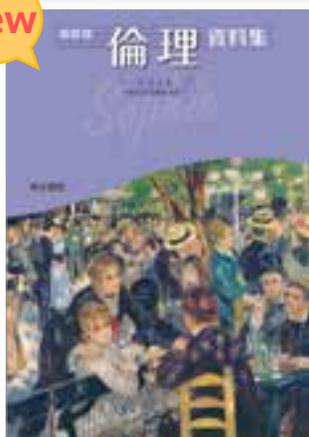
NEW!!



このマークがついた書籍につきましては, デジタルサポートサイトから問題・解答など各種データをダウンロードしていただけます。なお, ダウンロードの際には, ご採用校様(原則10冊以上)へ「ユーザーID」と「パスワード」を発行してのご利用を予定しております。ダウンロード, ID発行などの詳細につきましては, 弊社営業部にご確認いただくかHPをご参照ください。

副教材

New



最新版 倫理資料集 ソフィエ～智を学び夢を育む～

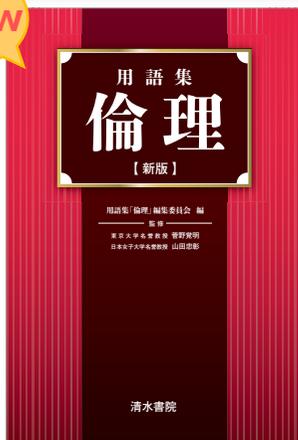


◆判型 : B5判
◆ページ数 : 312 ページ
◆価格 : 定価 935 円 (税込)
◆ISBN : 978-4-389-21890-4

新課程対応

- ① これ一冊で**共通テスト対策**に使える新しい資料集が誕生!
- ② 思考力を問われる問題に対応できる豊富な原典資料と詳しい解説
- ③ **読解力養成問題**と**過去問**で実践的な知識の習得ができる!
- ④ 多くの思想家の思想を理解するための図解を豊富に掲載

New



用語集 倫理 新版 **新課程対応**



◆判型 : 四六判
◆ページ数 : 400 ページ
◆価格 : 定価 935 円 (税込)
◆ISBN : 978-4-389-21904-8

- ① **共通テスト対策**に、**教科書+α**でおさえおきたい思想家や重要語を**正確に解説!**
- ② 用語のほかに、思想の理解を深める**原典資料**を豊富に掲載
- ③ **スタディプラス**と連携!**いつでも、どこでも**馴染みの端末で学習が可能

New



完全 MASTER 倫理問題集 大学入学共通テスト【最新第3版】



◆判型 : B5判
◆ページ数 : 184 ページ 解答別冊
◆価格 : 書籍のみ 定価 1,210 円 (税込)
Libryのみ 定価 1,210 円 (税込)
Libry + 書籍 定価 1,760 円 (税込)
◆ISBN : 978-4-389-21885-0

- ① 思想の背景まで**具体的にイメージ**できて理解に繋がる!
- ② 読解力が問われる問題、**連動型問題**への対策ができる
- ③ 図解や解説から**‘解き方’**の学習ができる! 共通テストまでしっかりアプローチ!
- ④ **Libry**と連携!**いつでも、どこでも**馴染みの端末で学習が可能

タブレット端末からご利用いただけるデジタル版もご用意しています!



問題検索, 学習履歴のデータ活用など多数の機能で
学習の幅が広がるデジタル教材版【リブリー】
詳しくはこちら! <https://libry.jp/>



紙の書籍を買うとシンプルな電子版が無料で使える
デジタル教材サービス対応【スタディプラス】
詳しくはこちら! <https://book-code.studyplus.jp/>



New



倫理データバンク — 一問一答 —

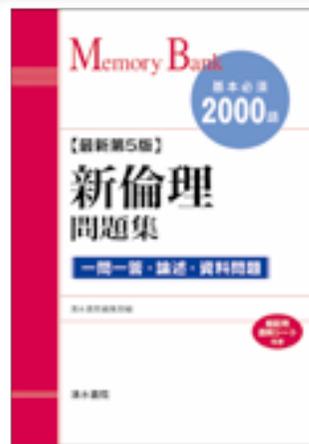
新課程対応



◆判型 : B6判
◆ページ数 : 264 ページ

◆価格 : 定価 770 円 (税込)
◆ISBN : 978-4-389-21903-1

- ✔ 基本必須 2,000 語に加えて, **心理学の問題と解説を収録した一問一答集**
- ✔ 原典資料内で問われる重要語を空欄にした**空欄補充問題**で読み解く力をつける
- ✔ Studyplus と連携! 場所を選ばず, **わずかな空いた時間も有効活用!**



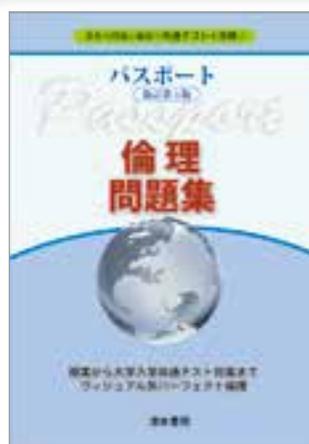
メモリーバンク 新倫理 問題集 最新第5版



◆判型 : B6判
◆ページ数 : 204 ページ

◆価格 : 定価 770 円 (税込)
◆ISBN : 978-4-389-21082-3

- ✔ 基本必須 2,000 語を収録した**一問一答集**
- ✔ 原典資料内で問われる**重要語**を空欄にした**空欄補充問題**で**読み解く力**をつける!
- ✔ Libry・スタディプラスと連携!
場所を選ばず, わずかな空いた時間も有効活用!



パスポート 新訂第5版 倫理 問題集



◆判型 : B5判
◆ページ数 : 144 ページ 解答別冊

◆価格 : 書籍のみ 定価 990 円 (税込)
Libryのみ 定価 990 円 (税込)
Libry + 書籍 定価 1,540 円 (税込)
◆ISBN : 978-4-389-21883-6

- ✔ 授業の予習復習から**共通テスト対策**まで対応した**問題!**
- ✔ **イラスト・図解・資料**で要点を整理, **深い理解**につなげる
- ✔ Libry と連携! **いつでも, どこでも**馴染みの端末で学習が可能

副教材

デジタル指導書

高等学校 新倫理 デジタル指導書〈クラウド配信版〉

▶ 定 価：25,300円（税込） ◆ ISBN:978-4-389-60640-4

詳細は P.44～45

▶ 書籍版指導セット ▶ 定 価：42,900円（税込） ◆ ISBN:978-4-389-60652-7

- ◎ 指導にすぐ使える **オールインワンパッケージ!**
- ◎ 指導書・教科書の **デジタルコンテンツが満載!**
- ◎ **いつでも、どこでも使えるクラウド配信版のプリント!**
作成アプリも用意しています
- ◎ ご要望に応じて **DVDでの提供も可能**です

収録データ

17種 約**480**ファイル
(JPEG 含めず)



● 指導書PDF

P.44



各テーマの授業の流れ、ポイント、図版・資料の活用方法や、内容を掘り下げるための発展的な問いかけ例、指導上の留意点などをまとめています。授業の流れやポイントを理解させ、自ら考える学習を促します。

● デジタル板書 PPT

P.46



板書例をパワーポイントデータで用意、授業でそのまま使える内容で先生方のご負担を軽減します。オリジナルスライドへの加工も簡単です。

● 教科書PDF

PDF

全ページを収録

P.43

● 教科書本文テキスト

Word

本文＋側注データを収録

P.43

● 教科書掲載写真・図版

JPEG

プリント作成に活用できる

P.43

● 板書例

Word

指導書 PDF の板書例を Word 化

P.45

● 教科書準拠ワークノートデータ

Word

実際に刊行しているワークノートと同一内容を収録

P.48

● 定期試験問題

Word

空欄補充，作業学習，発展問題など多数収録

P.49

NEW ● 授業プリント

Word

デジタル板書ベース，プリントアウト用素材

P.47

NEW ● 一問一答問題

Word

小テスト，授業の予習・復習に

P.49

NEW ● 思考ツール

Word

様々な目的に使えるテンプレート集

P.54

NEW ● 単元振り返りシート

Excel

自己分析や目標設定・評価に活用できる

P.54

● QRコードコンテンツ一覧

各種形式

教科書のQRコードにリンクしている独自素材など

P.36

● 法令・白地図

Word/JPEG

補足資料，作業学習に活用できる

P.48

● 共通テスト・センター試験過去問

Word

2015～2023年度の過去問，共通テスト試作問題収録

P.49

※上記のほか，指導案の作成にご利用いただけるシラバス案・評価規準案・ルーブリック評価表を収録しています。

指導をより豊かにする充実のコンテンツ

教科書 PDF

PDF



授業でご活用いただけるデータや自作の教材として加工できる素材を用意しています。

Point 1

教科書紙面のPDFデータは、授業でプロジェクトを使用する際などに便利です

第2章

世界と人間をめぐる探究

今日、世界のほとんどの国では、法の下に人権として個人の自由・平等が保障されている。その根底にあるのは、人間は人間であることにおいて、一人ひとりがかけがえない尊厳をもつという、人間尊重の原理である。しかし他方、現代でも、人種・民族による差別といった不条理なことが起こっている。個としての人間の尊厳を強調する原理は、他者への配慮を欠いた自己中心主義を生み、また類としての人間を過度に重視する立場は、人間以外の自然界の生命をたんなる操作対象へと捉める、偏った人間中心主義を生む。この章では、西洋の近代精神が生み出した光と影を見つめながら、人間と社会、そして世界についての考察を深めてゆこう。

第1節 人間の尊厳

1 ルネサンスとヒューマンズム

新たな人間観の誕生 近代の初頭、14世紀の北イタリアから、ギリシア・ローマの古典文化の復興をめざす、文化の革新運動が始まった。この運動はルネサンス（文芸復興）とよばれる。あるがままの人間性を肯定し、自己の生き方や求めるべき価値を、みずからの感情や理性によって決定する人間尊重の精神は、本来は「再生」を意味する。このルネサンスの運動に源を発する。

先駆者であるダンテは『神曲』をあらわし、人間の罪と苦悩、魂の救済



ダンテ、『神曲』の詩人（ミケランジェロ『ダヴィデ像』）
 中央に『神曲』を手にしたダンテ。右にフィレンツェ市街、左に地獄、右後方に煉獄（山）、上方に天国（天柱）が描かれる。『神曲』はスコラ哲学、とくにトマス・アクィナスの神学的世界観を前提とする一方、知識人の情熱を帯びたラテン語ではなく、生活語であったイタリアのトスカナ語で執筆され、多くの人々に親しまれた。

86 第3編 現代をかたちづくる倫理



『春（ラ・プリマヴェーラ）』（ボッティチェリ画） フィレンツェ ウフィツィ美術館蔵

『ダヴィデ像』（ミケランジェロ作） フィレンツェ アカデミア美術館蔵
 と神の愛を描いた。その後、ペトルルカやボッカッチョなどの文学者は、ギリシア・ローマの古典文化のなかに人間らしい生き方の規範を見だし、文芸作品のなかにヒューマンズムの精神を表現している。

ルネサンスの精神は、やがて美術の世界で開花した。ボッティチェリの作品には、人間の美しさとあふれるばかりの生命の息吹が感じられる。レオナルド＝ダヴィンチは、学問と文化のあらゆる分野にその才能を発揮する「万能人」とよばれた。彼は、人間のもつ無限の可能性を体現し、この時代の理想の人物とされる。『ダヴィデ像』で知られるミケランジェロもその系列にあり、彼らの影響を受けたラッファエロは『聖母子像』に見られるような、優美で繊細な作品を数多く残した。

ルネサンスの芸術は、パトロンである大商人の保護のもとに成立し、かざられた階層の人々のものであったが、人間の自由な精神とありのままの肉体の美を表現したことは、文化史上に大きな転換をもたらしたのである。

ラテン語の *humanitas* を語源とし、一般に人文主義と訳される。元來は言語を重視する古典文献研究の方法を意味したが、のちにルネサンスをつらぬく人間尊重の理念となった。とりわけ、アリストテレスを中心としたギリシアの学問的文献は、イスラームなどを介して中世ヨーロッパに流入していたが（→ p.33）、15世紀には、プラトンの公著作が人文主義者フィチーノ（M.Ficino, 1433～99）によって翻訳されて流通し、イタリアにおけるルネサンスの展開に大きな影響をあたえた。

第2章 世界と人間をめぐる探究 87

指導書

教科書図版・写真

JPEG

教科書本文テキスト

Word



Point 2

教科書本文はWord形式でも用意しています。本文のほか、図版や写真、資料などをJPEG形式でご利用できます。投影して解説をしかり行うことも可能です

- 1808 フーリエ『四運動の理論』刊行
- 1814 オウエン『新社会観』刊行
- 1824 サンシモン『産業者の教理問答』刊行
- 1825 オウエン、アメリカに実験的な共同体「ニュー・ハーモニー村」を建設
- 1844 マルクス『経済学・哲学草稿』執筆
- 1845 マルクス・エンゲルス『ドイツ・イデオロギー』執筆（～46）
- 1848 マルクス・エンゲルス『共産党宣言』出版
- フランスで二月革命／ドイツで三月革命
- 1859 マルクス『経済学批判』刊行
- 1864 第一インターナショナル結成
- 1867 マルクス『資本論』（第1巻）刊行



第2章 世界と人間をめぐる探究

今日、世界のほとんどの国では、法の下に人権として個人の自由・平等が保障されている。その根底にあるのは、人間は人間であることにおいて、一人ひとりがかけがえない尊厳をもつという、人間尊重の原理である。しかし他方、現代でも、人種・民族による差別といった不条理なことが起こっている。個としての人間の尊厳を強調する原理は、他者への配慮を欠いた自己中心主義を生み、また類としての人間を過度に重視する立場は、人間以外の自然界の生命をたんなる操作対象へと捉める、偏った人間中心主義を生む。この章では、西洋の近代精神が生み出した光と影を見つめながら、人間と社会、そして世界についての考察を深めてゆこう。

第1節 人間の尊厳

1 ルネサンスとヒューマンズム

新たな人間観の誕生 近代の初頭、14世紀の北イタリアから、ギリシア・ローマの古典文化の復興をめざす、文化の革新運動が始まった。この運動はルネサンス（文芸復興）とよばれる。あるがままの人間性を肯定し、自己の生き方や求めるべき価値を、みずからの感情や理性によって決定する人間尊重の精神は、本来は「再生」を意味する。このルネサンスの運動に源を発する。

ダンテ、『神曲』の詩人（ミケランジェロ『ダヴィデ像』）
 中央に『神曲』を手にしたダンテ。右にフィレンツェ市街、左に地獄、右後方に煉獄（山）、上方に天国（天柱）が描かれる。『神曲』はスコラ哲学、とくにトマス・アクィナスの神学的世界観を前提とする一方、知識人の情熱を帯びたラテン語ではなく、生活語であったイタリアのトスカナ語で執筆され、多くの人々に親しまれた。

『春（ラ・プリマヴェーラ）』（ボッティチェリ画） フィレンツェ ウフィツィ美術館蔵

『ダヴィデ像』（ミケランジェロ作） フィレンツェ アカデミア美術館蔵

先駆者であるダンテは『神曲』をあらわし、人間の罪と苦悩、魂の救済と神の愛を描いた。その後、ペトルルカやボッカッチョなどの文学者は、ギリシア・ローマの古典文化のなかに人間らしい生き方の規範を見だし、文芸作品のなかにヒューマンズムの精神を表現している。

ルネサンスの精神は、やがて美術の世界で開花した。ボッティチェリの作品には、人間の美しさとあふれるばかりの生命の息吹が感じられる。レオナルド＝ダヴィンチは、学問と文化のあらゆる分野にその才

デジタル指導書収録コンテンツ

指導書 PDF

PDF



☑ 単元ごとの板書例や授業の展開案、思想家や事項の解説、参考資料に加え、教科書の内容+αのエピソードを盛り込んだ授業のご準備を全面サポートする充実の内容です。

Point 1

1 単元ごとに授業のねらいを明示しています

48 第2編 人間としての自覚/第1章 哲学の起源：ギリシア思想

7 知と徳をめぐる問い——ソクラテス

教科書 pp.27～31

本時の目標

- ① ソフィストが登場した政治・社会的背景（アテネの民主政治の成立）と、ソフィストの思想（相対主義）の特色・問題点について理解する。
- ② ソクラテスの哲学について、無知の自覚を出発点として、問答法（助産術）、アレテー（徳）、魂への配慮など、主要な概念を関連付けて理解する。
- ③ ソクラテスとソフィストを比較し、その違いを整理するとともに、知と生き方（「よく生きる」）の関係について考察する。

評価の観点

知識・理解：ソフィストおよびソクラテスの思想の特色が理解できている。
 思考・判断・表現：ソクラテスの思想の要旨やソフィストとの違いを整理して説明することができる。
 主体的な態度：ソクラテスの思想の意義について、自身のあり方生き方と関わらせて考察している。

Point 2

1 単元ごとに、3つの「評価の観点」案を提示しています

Point 3

授業の流れがわかりやすい「板書例」。板書例はパワポでも活用できます

板書例

- 1 ソフィストの登場
 B.C.5C アテネで民主政治が成立
 →哲学的思考の対象が自然から人為（ノモス）へ
 ソフィスト＝弁論術を教える職業的教師
 例、プロタゴラス「人間は万物の尺度」
 …相対主義（普遍的真理を否定）
- 2 無知の自覚 哲学的出発点
 神託「ソクラテス以上に知恵のあるものはない」
 →賢者との問答
 賢者…知らないのに知っていると思っている
 ソクラテス…知らないと思っている
- 3 対話という手法
 エイロネイア…相手の無知をさらけ出させる
 無知の自覚→真の知の探究へ（問答法、助産術）
 ※ソフィストの弁論術（説得）とは異なる
- 4 徳とは何か
 アレテー（優秀性、卓越性）
 人間としてのアレテー＝徳（人格・精神の卓越性）
 →魂をよいものとする（魂への配慮）
 徳を実現するのは知的なはたらき
 徳を知ることなく備えることはできない
 （徳は知、知徳合一）
 真の知…実践・行為と結びつく（知行合一）
 徳を身につける＝よく生きる＝幸福（福德一致）
- 5 人生への問い
 「ただ生きるのではなく、よく生きること」
 正しく生きる＝ポリスの法に従う→毒杯をあおいだ

授業の展開

発問①▶哲学はなぜ、人間や社会を考察の対象とするようになったのだろうか？

▶社会的背景について簡潔に触れながら、ソフィストの思考の特色を理解させ、その功罪について考えさせる。

発問②▶賢者と対話を重ねたソクラテスは、どのようなことに気がついたか？

▶指導資料「無知の自覚」を活用し、賢者とソクラテスの違いを明確にする。

発問③▶無知を自覚した人は何を求めるだろうか？

▶問答的なやりとりを用いて無知を気付かせてもよい。

発問④▶人間のアレテーとは何だろうか？

▶事物（例、時計、ナイフ等）を例に取りながら考えさせる。

発問⑤▶ソクラテスはなぜ死刑判決を受け入れ、毒杯をあおいだのだろうか？

▶知を重んじるソクラテスの考え方と生き方を関連付けて理解させる。

Point 4

具体的な【発問例】を提示して、生徒の発言を引き出す工夫をしています。この指導書を活用し、発問とそのポイント、指導上の留意点などを押さえることで、授業がよりスムーズになります

ソクラテスの対話は他者を吟味しながら自己自身を吟味するものである。弁論術(言論による説得)を追求したソフィストとは異なり、ソクラテスが探究したのは自己の在り方生き方であった。知を生き方の基盤とし、自らの知を吟味してよりよく生きよとする哲学的探究の原点をソクラテスに見いだすことができるだろう。

Point5

思想家についても
詳細な解説を設けました

授業のために

●ソクラテス Sokratēs (470 B.C.? ~ 399 B.C.)

古代ギリシアの哲学者。アテネ出身で、父は石工(彫刻師)、母は産婆であったと伝えられている。ペロポネソス戦争ではアテネの遠征軍に三度にわたって従軍し、豪胆な精神と強靱な肉体で知られた。「ソクラテス以上に知恵のあるものはない」というデルフォイ神託を受け、町中を歩きまわって人々に問答を仕掛け、真理を探究して暮らすようになる。やがて、国家にとって危険人物と見なされるようになったソクラテスは、前399年、「国家の認める神々を認めずに、他の新奇な神霊をもちこむこと」と「青年たちを墮落させること」の二つの罪状で告発され、裁判にかけられることになった。法廷の場で、哲学の活動をやめるという条件を飲めば無罪放免になる可能性もあったが、ソクラテスは、あくまで自らの正当性を主張した。投票の結果、281対220で死刑の判決が下された。刑の執行までには1ヶ月の猶予があり、その間、友人たちから逃亡を勧められたにも関わらず、それには決して応じず、毒杯を干して死刑に処せられた。最後の言葉は「クリトン、アスクレピオス(医薬の神)に鶏を忘れずに供えてくれ」であったと伝えられている(プラトン『パイドン』)。

ソクラテスは著作を残しておらず、その言行は、プラトンの初期対話篇(『ソクラテスの弁明』『クリトン』など)の他、クセノフォンの『ソクラテスの思い出』『ソクラテスの弁明』や、アリストファネスの喜劇『雲』によって伝えられているが、そ

の人物描写は筆者によって異なり、複数のソクラテス像が存在する。クセノフォン(『思い出』)は、ソクラテスを人々を導く道徳家・教育者として描いたが、アリストファネス(『雲』)では、宙吊りの籠の中で天体現象を考察するソフィストとして戯画化されている。これらに対し、プラトンの描くソクラテスは、善美のことがらに関する無知の自覚を出発点とし、他者と自己を厳しく吟味して、真の知を探究する哲学者としての在り方が強調されており、ソフィストとは異なる哲学者としてのソクラテス像はプラトンによって生み出されたといえる。

ソクラテスの哲学は、万物の根源(アルケー)を追究する自然哲学(→教科書p.25)とは異なり、人間の在り方に関する倫理的な探究である。また、金銭と引き換えに実用的な知識・弁論術を教え、相対主義の立場に立ったソフィストとは対照的に、生き方に関する普遍的な原理を探究した哲学者であった(→探究課題①「ソクラテスとそれ以前の哲学者を比較し、そのちがいを整理してみよう」)。

■ソフィスト p. 27, 111

前5世紀頃、ギリシア各地を巡り、「徳の教師」として、弁論術や一般教養を教えて報酬を得ていた職業教師。ギリシア語で「知(ソフィア)をもつ者」を意味する。ソフィストが登場した背景には、アテネにおける民主政治の興隆によって、法廷や民会で人を説得するための技術、すなわち「弁論術」(レトリケー)が必要とされたことがある。代表的な人物としては、ソフィ

Point6

重要語句や
思想家に関連する人物・
事項を取り上げ、的確に
解説しています

第2編 第1章 7 知と徳をめぐる問い — ソクラテス 板書例
教科書 pp. 27~31

- ソフィストの登場
B.C. 5C アテネで民主政治が成立
→哲学的思考の対象が自然から人為(ノモス)へ
ソフィスト=弁論術を教える職業的教師
例、プロタゴラス「人間は万物の尺度」
…相対主義(普遍的真理を否定)
- 無知の自覚 哲学的出発点
神託「ソクラテス以上に知恵のあるものはない」
→賢者との問答
賢者…知らないのに知っていると思っている
ソクラテス…知らないと思っている
- 対話という手法
エイロネイア…相手の無知をさらけ出させる
無知の自覚→真の知の探究へ(問答法、助産術)
※ソフィストの弁論術(説得)とは異なる

板書例

Word



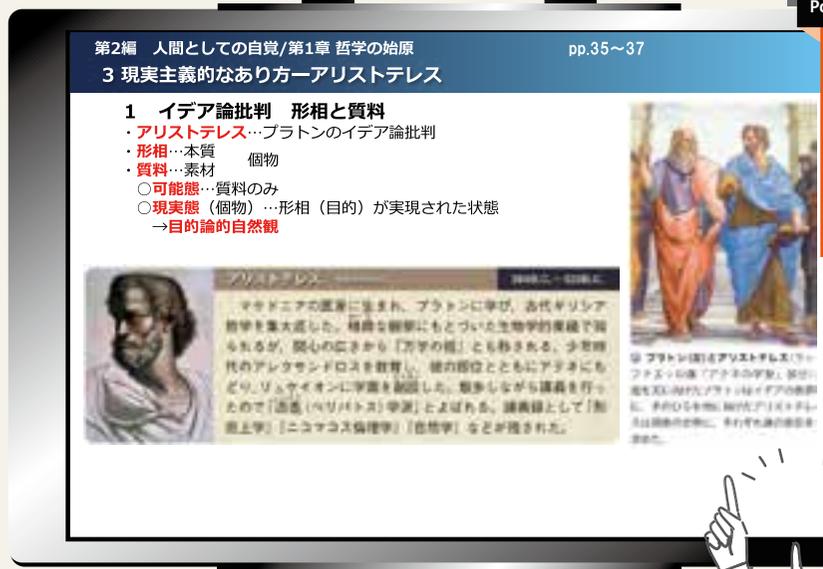
Point7

授業をサポートする
單元ごとの板書例は、
加工しやすい実用的な
Wordデータも
用意しています

デジタル指導書収録コンテンツ

デジタル板書 PowerPoint

- ☑ 電子黒板などで利用できるパワーポイントの板書スライドを用意しました。
- ☑ 教科書内容にそった解説と図版で構成、先生方の授業準備のご負担を軽減します。



第2編 人間としての自覚/第1章 哲学の始原 pp.35~37
3 現実主義的なあり方—アリストテレス

1 アイデア論批判 形相と質料

- ・アリストテレス…プラトンのアイデア論批判
- ・形相…本質 個物
- ・質料…素材
 - 可能態…質料のみ
 - 現実態(個物)…形相(目的)が実現された状態

→目的論的自然観

アリストテレス

マケドニアの国境に生まれ、プラトンに学び、古代ギリシア哲学を大成した。種々の職業にもついで生物学的業績で知られるが、関心の広さから『万学の師』とも称される。少教師代のアレクサンドロスを教育し、彼の即位とともにアテネにもどり、リュケイオンに学舎を設けた。数多しながら講義を行ったため『逍遥(ペリパトス)学究』とよばれる。講義録として『形而上学』『ニコマコス倫理学』『自然学』などが残された。

プラトンの『国家』アリストテレス『ソポクレス』から『アリストテレスの政治学』、アリストテレス『ソポクレス』から『アリストテレスの倫理学』、アリストテレス『ソポクレス』から『アリストテレスの倫理学』、アリストテレス『ソポクレス』から『アリストテレスの倫理学』

Point 1

プロジェクトに投影するなどして、分かりやすく説明することが可能です。補助教材としての活用が期待できます



Point 2

穴埋め形式にして小問を作成したりといった加工が自由にできます

第2編 人間としての自覚/第3章 東洋思想の源流/第1節 智慧と慈悲の教え—仏教 pp.57~61
2 仏陀の思想

3 苦滅とその方法

苦の消滅とは何か？ 原因(=煩惱)の解消
涅槃(ニルヴァーナ) 安らぎの境地 仏教の目的
涅槃にいたる正しい道とは？ 八正道
正見・正思・正語・正業・正命・正精進・正念・正定
苦行でも快樂でもない：中道 極端を捨て固執しない

神道

八正道

正見	(正しい理解)
正思	(正しい心の持ち方)
正語	(正しいことば)
正業	(正しい行儀)
正命	(正しい生活)
正精進	(正しい努力)
正念	(正しい気づき)
正定	(正しい精神統一)

◎ サールアート(仏教遺跡の地)

◎ 神道と西語、八正道、中道の関係

Point 3

学習内容に対応した図版もまとめて表示

特別版の板書スライドも用意しました

心理学・特別授業 PowerPoint

第1編 現代を生きる自己の課題第2章 心と行動をめぐる探究 pp.13~16

1 人間の活動を支える心 - 欲求と感情を科学する -

C 感情を経験するしくみ

- ・感情における身体的変化と主観的な気持ちの関係

3) シャクター=シンガー: 感情の二要因説

身体的反応 + 原因の解釈 → 感情経験の質



ジェットコースターに乗ってます。楽しい!

どきどき

崖っぷち歩いてます。チョー怖い!

Point1

新設の心理学(第1編)については、特別版のパワーポイント・板書スライドを用意。
教科書内容に即した解説と図版、イラストでビジュアルに構成、先生方の授業準備をサポートします

Point2

「認知のしくみ」では、反転図形、ゲシュタルトなど、実例画像を見せながら解説できます。

第1編 現代を生きる自己の課題第2章 心と行動をめぐる探究 pp.16~18

2 認知のしくみ - 知覚・記憶・課題解決を科学する -

A 外界を知覚する心のはたらき

- 1) 知覚の恒常性
- 2) 錯視
- 3) 反転図形



これは大きな木の絵だけど、動物2匹、隠れているよね。わかるかな?

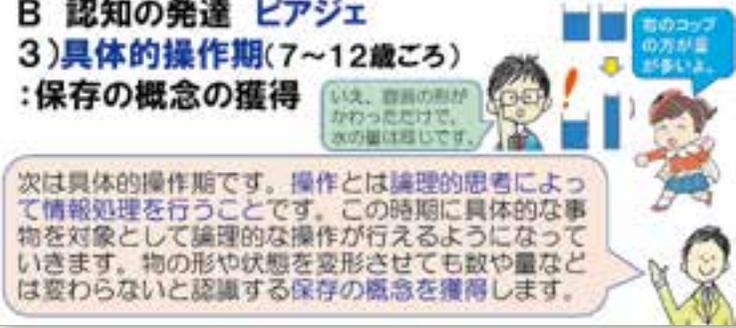
第1編 現代を生きる自己の課題第2章 心と行動をめぐる探究 pp.19~22

3 生涯にわたる発達 - こころの発達を科学する -

B 認知の発達 ピアジェ

3) 具体的操作期(7~12歳ごろ)

: 保存の概念の獲得



おのこぶの方が重が多いよ。

いえ、容積の形がかわっただけで、水の量は同じです。

次は具体的操作期です。操作とは論理的思考によって情報処理を行うことです。この時期に具体的な事物を対象として論理的な操作が行えるようになっていきます。物の形や状態を変形させても数や量など変わらないと認識する保存の概念を獲得します。

Point3

解説と図版、イラストで教科書の内容をすっきり整理しています。
心理学への興味を喚起するコンテンツです!

授業プリント Word

◎ デジタル板書を Word データ化し、重要語句の穴埋め問題にも利用できるプリントアウト用素材も準備しています

指導書

デジタル指導書収録コンテンツ

教科書準拠ワークノート

Word



教科書準拠ワークノートを Word データで用意しました。

第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚
第1章 日本の風土と精神文化
第2節 日本人の仏教受容
36 鎌倉仏教の思想 (1)
教科書 pp.158~161 別冊解答 p.16

基礎力 up!

■ 宋法思想と浄土信仰

①平安時代中期には、②があらわれ、③を広めた。④は『⑤』をあらわし、⑥の西方極楽浄土への往生を説いた。

⑦は、「この世界を頼り捨て、次の生では浄土に往生することを願い求めよ。」(⑧)とすため、そのための方法として示されたのが、心に⑨や極楽浄土を思い描く⑩である。

⑪また、④は、口々に「⑫」と称する⑬をも認め、後世に大きな影響をあたらせた。

⑭⑫は、各地を巡歴・遊行して庶民に⑮信仰を説き、⑯と⑰とよばれた。⑱がはじめたとされる⑲は、経をならし、飢饉をたまたき、⑳を称え続けた。死生の機軸をなすもので、今日の㉑の源流となっている。

㉒平安時代後期、㉓が急速に広まった背景には、㉔の自覚の深まりがある。戦乱の没後、しだいに人々の実感が下り、仏教が畏れ世が危れるとする㉕を憂うけるかのように、天災や戦乱があいついだ。

㉖㉗とは、仏教の時代観で、教(教義)・行(修行)・証(悟り)の実現される㉘一千年、教・行のみが実現される㉙一千年、教がかりうじて現れるのみで、いかに人々が修行し悟りを得ようとしても不可能な㉚一万年、という三時代の区分である。

■ 専修念仏の教義

㉛平安時代末期から鎌倉時代にかけて、㉜や㉝があらわれ㉞をさらに深め、旧来の㉟の枠を超えた独自の教義を生み出した。

㊱㉞は、比叡山で学問・修行を重ねるなかで、①の②に関心をいだき、そこに引用される佛の③の思想に強く惹かれた。

㊲㉞は、一心に④と称し、かたときも怒らないことこそ、まさしく往生の原因とする⑤のことばに出会い、たちまち⑥の教義に傾いたという。彼は、比叡山を下り、人々を教化しながら、みずからの教義を体系化して『⑦』をあらわした。

㊳末法の世に生まれ、素質・能力に劣る人々にとって、自力の修行によって悟りを得ようとする教義(⑧)は、とうてい実践することができない。⑨のはたらき、すなわち⑩を信じて浄土に生まれ、後生に悟りを得ようとする教義(⑪)によるほかはない。

㊴このように考えた⑫は、浄土に往生するための手だてとして、他の修行法を捨てて、専ら⑬を修すること(⑭)を説いた。こうして、誰でも実践できる⑮、⑯を明確に選びとり、新たに⑰が生まれた。

㊵㉞の教義の影響下で①があらわれ、②の開祖となった。彼は、③を称えれば誰でも往生すると説き、信・不信を選ばず、ゆき合う人々に④を配り、⑤をすめた。

㊶彼は、「⑦、⑧(みならず往生することができる)六十万人」と⑨にしるし、生涯の教化の目標を自ら誓った。

㊷㉞は、教化のために諸国を遊行して、①とよばれ、生活にかかわる一切の束縛を捨て去ったことから、

Point 1

レイアウトを単純化した構成。自由に加工しやすくなっています

㉞ともよばれた。

■ 絶対他力の信仰

㊸㉞の教義を継承しつつ、㊹への信仰を深く突き詰め、後に㊺の開祖とよばれたのが㊻である。彼がききついたのは、どれだけ㊼をつくそうと、この人生の間に悟りを得ることはできないという自覚であった。

㊼㊽にあって自己とは、極めて㊾重く、㊿であることを見逃すことのできない存在であった。すなわち、悟りを求めて善をなそうとしても、前生に重たれた悪の報いが妨げとなって、どうしてもなすことのできない存在であった。

㊽㊾に対する信仰の根柢には、㊿への自覚があり、㊽はそうした㊿を助けようとする誓願(㊿)を立てて悟りを開いた仏であった。

㊿「善人なほもて往生をどく、いはんや㊿をや」とは、㊿の『教義集』にあることばで、㊿とよばれる㊿の教義を表現したものである。

㊿㊽にあれば、㊽が衆生を浄土に迎えようとする本願の意図は、㊽のはたらき(㊿)をわたる(㊿)の教義にある。㊿こそ往生の条件をもっと適切に備えているのであり、㊿で善をなし得ると思い、修行にはげむ人(㊿)以上に、㊿の往生は疑いないのである。

㊿㊽にあれば、㊿を捨て自己を㊿にゆだねるとき、㊽のはたらき(㊿)があらわれ、㊿や㊿となる。仏をたのむ心さえ、仏のはたらき(㊿)にほかならないという、徹底した㊿の考え方は、㊿とよばれた。こうして㊿のはたらきこそ、彼は㊿とよんだ。

理解力 up!

諸国遊行の仏教指導者たち

①	奈良時代	私成僧の集団を率い、教化活動とともに社会事業を展開。東大寺大仏の建立にも尽力。善隣ともよばれた。
②	平安時代	死生の機軸のために③をはじめ。庶民を中心に阿弥陀仏信仰を説いた。阿闍梨院・市型ともよばれた。
④	鎌倉時代	⑤の開祖。念仏を配布し、教化のために諸国を遊行した。遊行上人・⑥ともよばれた。

確認しよう!

1 次の文章は、源信が成仏について論じたものである。その内容の説明として最も適切なものを、下の①~④のうちから一つ選べ。(2017・追試)

『法華経』の方便品には、「諸仏は、衆生(生き物たち)に私の悟りを得させるために、世に出現した」とある。成仏に関する衆生の違いがあつて、成仏できない存在がいるという考えもあるが、そのような存在であっても、ある者は私の悟りを求めようとし、また、ある者は輪廻して悪い境遇に陥ることを恐れ逃れようとするだろう。そうであれば、仏が彼らを救うために世に出現しないなどということが、どうしてあり得るだろう。仏の大慈悲は血すらず見捨てることはない。それゆえ、私の悟りを得させるというたゞ一事のために、私は世に出現したと『法華経』では言われている。このことから、衆生の素質の違いに応じた様々な教えがあるにせよ、これらの教えはすべて私の悟りを得させるための最高の教えに帰一するのだし、あらゆる衆生はその教えを受けて成仏することができると思わなければならない。(『一乗要決』より)

Point 1

様々な用途で活用できる白地図素材を収録

法令・白地図

Jpeg



- ☑ 「指導書 PDF」 P.44 に収録した「定期試験問題」の Word データを用意しました。
- ☑ そのままご使用いただけるのはもちろん、ご自身で問題の編集を行い、オリジナルの問題を作成することもできます。

Point 1
教科書の重要語句を問う問題から新しい評価の観点からふまえた問題まで、幅広く掲載しています

定期テスト問題
第1編 現代を生きる自己の課題
第2章 心と行動をめぐる探究

3. 次の文を読んで、後の問いに答えよ。
私たちの心のなかには、さまざまな①**欲求**が生起し、ときには相反する欲求が同時に生じることもある。そのようなとき、私たちは②**感情**や考え方をコントロールすることによって、③**衝動的な欲求のみによって行動を決めるのではなく、長期的な視点や重要な目標達成という点から望ましいとされる行動をとることができ**る。

問1 下線部①について、人間の欲求を4種類の欠乏欲求と自己実現の欲求に分類する欲求階層説を唱えた心理学者は誰か。
問2 下線部②について、感情の生起過程にはさまざまな説がある。そのうち、手足や内臓などの生理的反応が脳に伝わることで、「うれしい」などの主観的な感情経験が生じると考える説を何というか。
問3 下線部③のように行動を調整する過程を何というか。

解答
問1 マズロー
問2 感情の未精熟説
問3 自己制御

解説
問1 に関連して、マズローの欲求階層説はあくまで「このような見方ができる」というひとつの特長として提案されたものであり、実際に人間の欲求がこのような構造であると、何らかの科学的事実によって示されているわけではない。そのため、教科書本文でも「マズローは……欲求階層説を提示した」という記述になっている。これを「マズローが提示した」の部分が抜け落ちて、あたかも欲求階層説が欲求についての唯一の説明であるかのように受け取られないように注意が必要がある。

4. 次の文を読んで、後の問いに答えよ。
心理学者の＜ A ＞は、乳児期から子ども時代の認知能力の発達に关する理論を提唱した。その理論によると、人間は出生後、(1)期、前操作期、具体的操作期、(2)期という段階を経て認知能力を発達させていく。たとえば、3歳～4歳頃の子どもは他者の知識や感情などを他者の視点に立つて推測できず、①**自分自身の心の状態を当てはめて推測する傾向**があるが、徐々に②**他者の心の状態を推測する機能**を獲得し、他者が自分とは異なる心の状態をもつことを理解していく。
また、心理学者の③**エリクソン**によれば、青年期は④**「心身-社会的モラトリアム**」の期間であり、この時期には自分が何者であるかについての意識、すなわち(3)を形成することが発達課題となる。

問1 文中の(1)～(3)に入る適切な語をそれぞれ1つずつ選べ。
問2 文中の＜ A ＞に入る人物を下記よ
マズロー ピアジェ アイゼンク

問3 下線部①のような傾向を指す言葉は
慣習的 自律的 象徴的

問4 下線部②の機能を何というか。
問5 下線部③に関連して、エリクソンの提唱した理論について正しい記述を1つ選べ。
ア. 発達とは出生から老年期まで続く過程であり、生涯のそれぞれの段階に応じた発達課題がある。
イ. 人の生涯は、幼年期から青年期までの「発達」、成人期から老年期までの「衰え」の段階に分けられる。
ウ. エリクソンはピアジェの考え方を発展させ、道徳的判断の発達を6つの段階に分類した。
問6 下線部④とはどのような期間であるか、簡潔に説明せよ。

解答
問1 (1) 感覚運動 (2) 形式的操作 (3) アイデンティティ (自我同一性)
問2 ピアジェ
問3 自己中心的
問4 心の理論
問5 ア
問6 一人前の人格に成長する準備期間であり、おとなとしての社会的責任や義務を背すまたは免除されている期間。

解説
問3 について、ここでいう「自己中心的」とは自分勝手利己的という意味ではなく、物事を自分の視点からとらえる傾向のことである。たとえば、戸棚にお菓子がまわってあるのを自分知っているとき、その戸棚の中身を知らないはずの他者もお菓子のことを知っていると思って推測してしまうのは、自己の心の状態（お菓子がどこか知っている）を他者の心の状態に当てはめて推測する例である。自己中心性について学習する際には、「自分のことしか考えているのは良くないことだ」「他者のことを思いやるべきだ」といった道徳的な問題と混同しないように注意が必要である。
また、「心の状態」とは、いわゆる「気持ち」（感情）だけでなく、思考や知識などを含めた幅広い内容を指す語である。

5. 次の会話を読んで、後の問いに答えよ。
生徒：テスト勉強をしていると、前に覚えたはずの内容を忘れてしまうことがよくあるんですが、なぜ覚えたことを忘れるんでしょうか。
先生：その疑問に答えるには、まず①**記憶とは何か**ということを考えないといけないね。実は記憶は3つの過程に分けられると考えられているんだ。光や空気の振動として入力された感覚刺激を形や音として意味づける(1)、それを誰かの顔や声といった意味をもった情報として蓄えておく(2)、そして(2)された情報を必要に応じて思い出す(3)の3つだ。
生徒：記憶と一言で言っても、その中にいろいろな段階があるんですね。そうすると、「忘れる」というのも、(2)した情報が消えている場合だけではなく、情報の(3)に失敗する場合もあるということですね。
先生：そういうこと。私たちが普段意識していないのはたぶん、こうやって過程をおけることで、どのような仕組みになっているかが詳しくわかるんだよ。心理学では、人間が外界から情報をとり入れて、それを蓄えたり利用したりする活動の全体を(4)と呼んで、その仕組みを研究しているんだ。
生徒：記憶以外にも、人の心はたらきがいっぱいと研究されているんですね。そういうば倫理の教科書に網膜とか視覚

Point 2
共通テストの傾向をふまえた思考力・判断力を問う出題や資料文の読解問題も充実しています

- ☑ 2015～2023年度センター試験・共通テスト本試験・追試験の問題を収録しています。2025年度から実施される大学入学共通テストの試作問題「公共・倫理」「公共・政経」の Word データも準備しました。

- ☑ 各編ごとに小テスト、授業の予習・復習などにご活用いただけます。

指導書

デジタル指導書収録コンテンツ

❖ プリント素材データベース【クラウド版アプリ】

- ◎ 教科書単元や生徒個別の指導にあわせて簡単にプリントやテスト問題が作成できる先生方をサポートするクラウド版プリント作成アプリです。
- ◎ Webブラウザからいつでも、どこでもアクセス可能！
- ◎ 教科書本文はもちろん、**教科書準拠ワークノート**や**定期試験問題**、**大学入学共通テスト・センター試験過去問**などの各種テスト問題を、教科書単元、科目分類、キーワード等で検索し、**Word形式で出力**できます。また、**オリジナル素材・問題の登録も可能**です。

収録素材一覧

教科書本文テキスト

教科書図版・写真

板書例

授業プリント

教科書準拠ワークノート

定期試験問題

一問一答問題

共通テスト・センター試験過去問

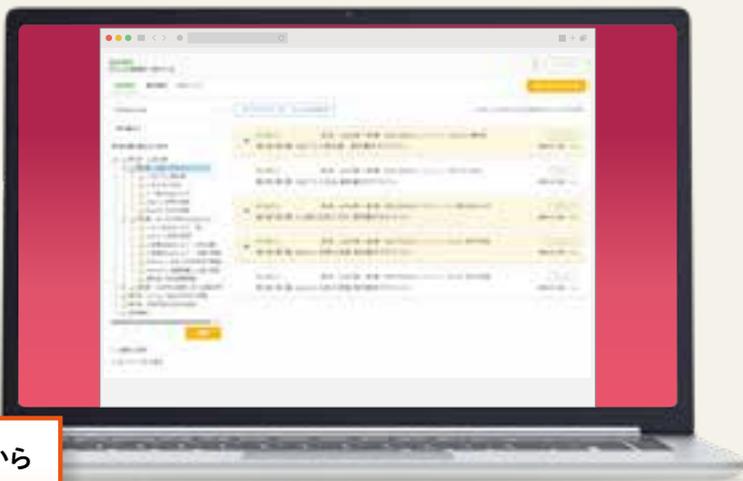
白地図・法令データ

データベースの使用方法について

- ① <http://datebase.shimizushoin.co.jp>よりログイン画面が開きます。

※ IDとパスワードは各学校のご担当者様へ個別にお知らせいたします。

- ② ご利用方法については、**オンラインヘルプ**も準備しています。

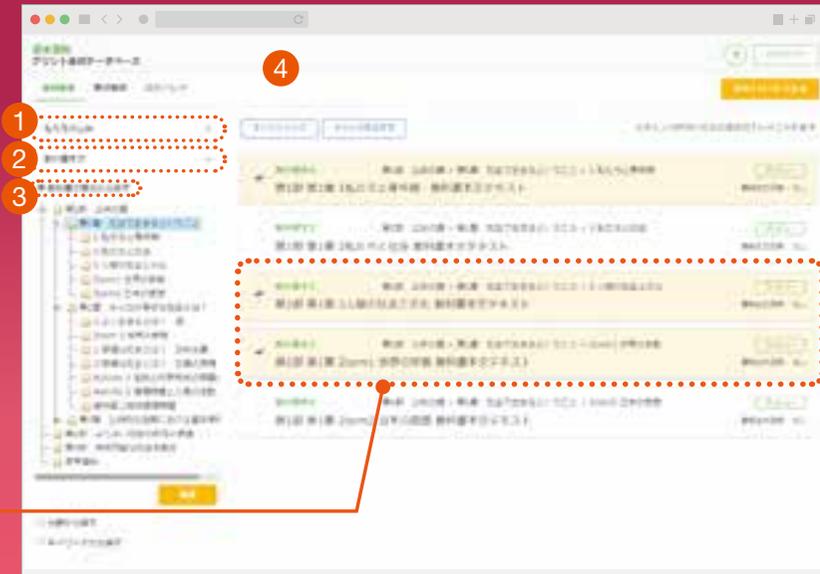


ご利用方法に記載されているURLからデータベースにアクセスしてインストール不要でアプリを利用することができます

※操作にてご不明な点があれば、弊社営業部にてサポートいたしますのでご安心ください。また、サンプル版も用意しております。詳細は、お気軽にお問合せください。

クラウド上での使用が可能になりました

面倒なインストールはもう不要！
クラウド上で使用することが可能になりました。



※紙面は「公共」の画面です。
「倫理」は現在制作中です。



ワンクリックで出力！

プレビューで内容をしっかり確認



体裁も自由に整えられる！

解答の有無や出力位置はもちろん、
タイトルや名前記入欄なども調整可能。
プリントや試験問題作成の時間を
節約できます

一学期中間調査

組 番 名 前

【1】次の文章を読んで問に答えなさい。<私たちと青年期>
思春期から(A) 童年期にかけてを、レグレンは子どもから大人への中間的な時期として(1)とよんだ。この時期は、自分は何者であるかという(2)を確立する時期だといわれる。エリクソンは(B) 人生を8段階に分けるとともに、青年期は大人としての役割や責任を担うされた(3)の状態にあると考えた。青年期には大人への(C) 成長する時期としての発達課題がある。ハヴィグーストは(D) 10の課題をあげている。

問1 空欄(1)～(3)に適する語句を記入しなさい。
問2 下線部(A)は親や周囲の大人から自立する時期であるが、そのことを表す語句を答えなさい。
問3 下線部(B)のうち成人期の課題と課題が達成されない場合の危機を答えなさい。
問4 下線部(C)について、マズローの欲求階層説で最上位の欲求を答えなさい。
問5 下線部(D)のうち職業についての課題を答えなさい。

解答
問1 ①自ラジナルマン ②アイデンティティ ③心理的・社会的モラトリアム
問2 第二反抗期(心理的離乳) 問3 親密性・孤立 問4 自己実現の欲求
問5 職業の選択と準備

【2】次の図を読んで問に答えなさい。<私たちと社会>



問1 空欄(1)～(2)に適する語句を記入しなさい。
問2 図1に関して、本図は家庭が担ってきた子どもの世話や高齢者介護を企業などが行うようになることを何というか。答えなさい。
問3 図2のような変化に対応するため、高齢者が社会が支える保険制度を答えなさい。
問4 図1、2のような変化に対応するため、自治体が行っていることを一つ答えなさい。
問5 自分から積極的に社会の発展にかかわる態度を何というか。答えなさい。

デジタル指導書収録コンテンツ



シンプル版デジタル教科書

PDF



- Adobe Acrobat Reader で利用できる簡単操作の PDF 版デジタル教科書です。
- デジタル指導書に同梱されていますので、改めてご購入いただく必要がありません。

●ジャンプ機能

目次、さくいん、本文参照ページなど、クリックで該当箇所へジャンプします



●解説ポップアップ

脚注などの番号にカーソルをあわせると、該当する注にオレンジ枠が表示されます

その他 Acrobat Reader の機能として下記のようなものが利用できます。

- 読み上げ
- 文字の色反転
- コメント入力(文字・図形の入力、マーカー等)
- しおり機能

など

学習者用デジタル教科書



<https://libry.jp/>

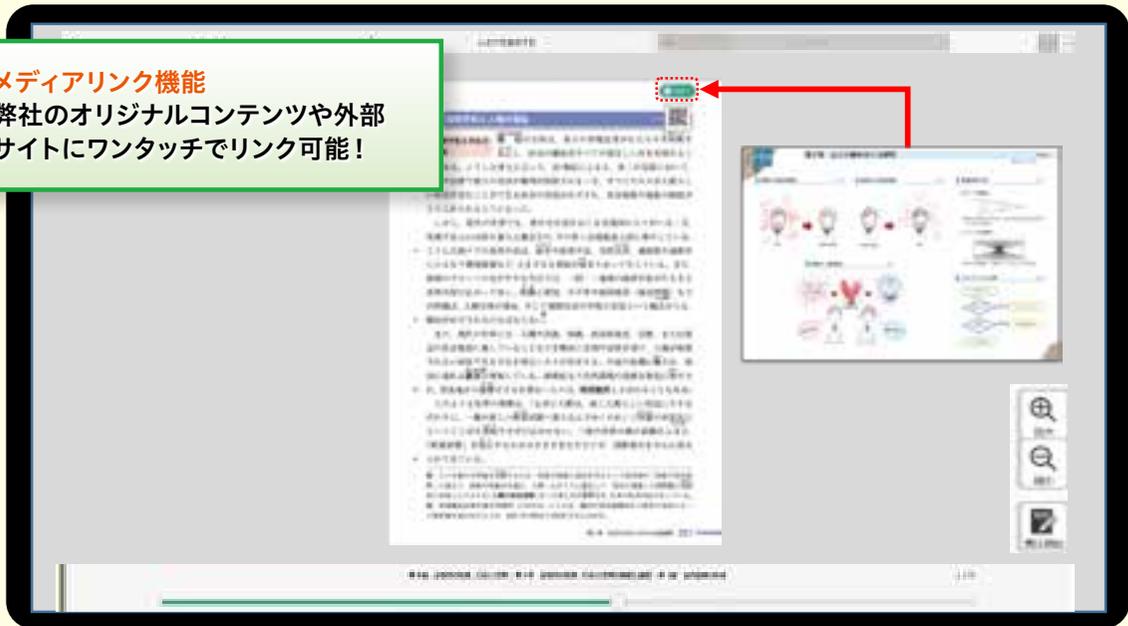
注: こちらの商品は
デジタル指導書未収録
(別売り)です。

学習者用デジタル教科書(クラウド配信版) 定価550円(税込)

※画像はイメージです。実際の画面とは異なります

メディアリンク機能

弊社のオリジナルコンテンツや外部サイトにワンタッチでリンク可能!



基本機能ツールのペン・マーカーなどの色や透明度、太さなどの設定を変え、保存したりすることができます



デジタルサポートサイト



弊社のデジタルサポートサイトでは、**観点別評価規準案**や**シラバス**、**ルーブリック評価表**等はもちろんのこと、**デジタル指導書**をご購入いただいた先生向けの**ダウンロードサービス**をおこなう予定です。各種データをオンラインでいつでもどこでもダウンロード可能。その他、**教科書本誌未収録のコンテンツ**などを用意していきます。

デジタル指導書収録コンテンツ

単元振り返りシート Excel X

高等学校 新倫理 単元振り返りシート

年	組	番 名前:	月	日
単元名:				
○単元を深く問い:				

★ 問いに対して、学習前と学習後に考えたことを具体的に書きましょう。

★ 授業で初めて知ったことや、印象に残ったことを書きましょう。

★ わからなかったことや疑問に思ったこと、調べたいことを書きましょう。

★ 単元を振り返り評価しましょう。 A:十分 B:普通 C:不十分

- 内容を理解できた [A B C]
- 内容は興味深かった [A B C]
- 授業に意欲的に取り組めた [A B C]

Point 1

目標に対して「できた」・「できなかった」ことを振り返り、自己分析することで、次の目標を設定しやすくなります

Point 2

目的の達成に向けてどのような取り組みをしたのか、学びへ向かう姿勢を具体化することで生徒自身の成長を促すとともに、評価規準の資料としても活用できます

思考ツール Word W

Point 1

比較・分類など目的によって選べる多彩な種類のツール。さまざまなシチュエーションで思考スキルの習得・定着をサポートします

Point 2

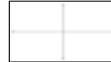
これからの学習に求められる「思考力」。情報を収集し、整理して捉え、発信する一連のプロセスの視覚化と情報整理に役立つツールを、多数準備しています

思考ツール

学習指導要領では、探学的な学習の過程において、「比較する」、「分類する」、「課題の解決」、「予想を助ける」などの「考えるための技法」を活用するとしています。この比較や分類について、冊中表を使って視覚的に行うものが思考ツールです。 ＊使用方法 ＊結果

比較する

座標軸



● 座標・軸に観点を設け、4象限で事柄を整理したり、比較したりします。軸の端では観点の程度が大きくなり、反対側では程度が小さくなるというイメージがしやすい図で、相対的に事柄を配置し、情報の整理・分類・比較などに使用します。

座標軸 (4象限)



★ 書き出す事で思考の整理ができ、グループワークで議論しながら特徴を見出し、話し合いの焦点を絞る事が大事になります。

分類する (多角的に見る)

Yチャート (3視点)



Xチャート (4視点)



Wチャート (5視点)



＊ 対象を色々な角度から多面的にとらえ、対象について意見を出し、新しい考えを見出すなどに使用します。

★ 出た意見について話し合ったり、対比したりして意見をまとめます。

課題の解決 (見通す)

フィッシュボーン図 (特性要因図)



＊ 結果 (特性) がどのような要因で発生したのか、または要因によってどのように結果が変わるかのシミュレーションなどに使用し、頭の部分に結果・中身に具体的な内容の要因を示します。

★ 要因を変化させると結果がどうなるか、また良い結果になるようにどの要因を示すかなどを検討します。

予想を助ける (見通す)

キャンディーチャート



＊ 「もし〜なら」という仮定・条件に基づいて、結果を予想し、その根拠を視覚化します。「仮定・条件」→「結果」→「理由・根拠」を書き出します。

★ 条件が多様に変化する時、根拠に基づいて何が起るか予想をすることが必要で、条件の変更と予想の根拠を明示することを促します。



高等学校 新倫理 指導と研究〈書籍版指導書〉

▶ B5版 448ページ ▶ 定 価：17,600円(税込) ◆ ISBN:978-4-389-60646-6
 ▶ デジタル指導書セット ▶ 定 価：42,900円(税込) ◆ ISBN:978-4-389-60653-4

- ☑ 指導書 PDF, 定期試験問題を収録した書籍版指導書も用意しています。
- ☑ 単元ごとの板書例や授業の展開案, 思想家や事項の解説, 参考資料に加え, 教科書の内容+αのエピソードなど, 授業を全面サポートする充実の内容です。

Point 1

1 単元ごとに, 3つの「観点の評価」の案を提示しています

指導書

Point 2

1 単元ごとに授業のねらいを明示しています

76 第2編 人間としての自覚/第2章 唯一神の宗教: キリスト教・イスラーム教

12 イエスの思想

教科書 pp.43~46

- 本時の目標
- ①『新約聖書』の内容について, イエスの言葉を中心に, とくに, イエスの教えが, どのように人々の心に届いたかを理解する。
 - ②イエスが, 人々に語った「神」と救いについて, 神の愛(アガペー)を中心に理解する。
 - ③キリスト教の拡大におけるパウロの役割について, とくにその思想(原罪, 十字架による贖罪, 信仰と義認)の点から理解する。

評価の観点

知識・技能: イエスの生涯と思想内容をユダヤ教と関連付けて理解している。
 思考・判断・表現: イエスの思想を『新約聖書』を引用しながら説明できる。
 主体的な態度: キリスト教の愛(アガペー)に基づいた活動が世界のどのような場面で実践されているか, 自らも実践できるかを主体的に考察できる。

Point 3

授業の流れがわかりやすい「板書例」。板書例はパワポでも活用できます

板書例

1 イエスの教え

『新約聖書』: イエスのことば(福音)と活動・使徒の言葉を記す

「神の国は近づいた, 悔い改めて福音を信ぜよ」
 律法の大切さ: ユダヤ教を継承
 律法を守る心の状態を問題にする→律法の内面化
 「殺すな, 殺す者は裁判を受けなければならない」
 →「怒る者はだれでも裁判を受けねばならない」
 : 内面化
 律法の形式的な遵守と信仰は別次元のもの
 →パリサイ人を批判 十字架刑へ

神の国は心の中にある
 最も重要な律法はふたつ
 神への愛: 「心をつくし…主なるあなたの神を愛せよ」
 隣人愛(黄金律): 「人々からしてほしいと望むことは, 人々にもそのとおりにせよ」

2 神の愛 アガペー

神の愛は無差別平等, 無償の愛
 「放蕩息子のたとえ」: 父の愛はどのような愛か
 「見失った羊」: 羊飼いの愛はどのような愛か
 賤しいもの, 見捨てられたものたちから神は愛する
 新しい「契約」: 神は神の愛を信じる全ての者に救済を約束

3 イエスの磔刑とキリスト教の誕生

イエスの教えは, 当時の権威や社会秩序を脅かした十字架刑と「復活」, 使徒の活動
 キリスト教会の成立(ペテロの活躍)

授業の展開

▶『新約聖書』は『旧約聖書』と比べて, 意外と読んだことがない, 内容を全く知らない生徒が多い。イエスの例話は解釈が難しいものもあるが, 実際に読ませて, 生徒に素直な感想を話させる。
 ▶イエスはユダヤ教をどう引き継ぎ, どのように捉えなおそうとしたのか, 問いかける。
発問▶旧い契約と新しい契約はどう違うだろうか。
 ▶イエスはユダヤ教の基本的な特徴(一神教・契約の思想)を継承しており, 律法を否定したわけではなく, その内面的意味の深化を図った。
 ▶アガペー(完全な者から不完全な者に対する愛)について, ギリシア的なエロース(不完全なものから完全なものへあこがれる気持ち)やフィリア(不完全な者同志の友愛)と対比的に捉える見方を紹介する。
 ▶教科書p.45の「最後の晩餐」を見て, それがどのような場面であり, ペテロ, ユダなど代表的な人物について説明しながら概観する。この絵については画法や製作上などのエピソードも多いので, 紹介して興味関心を持たせてもよい。

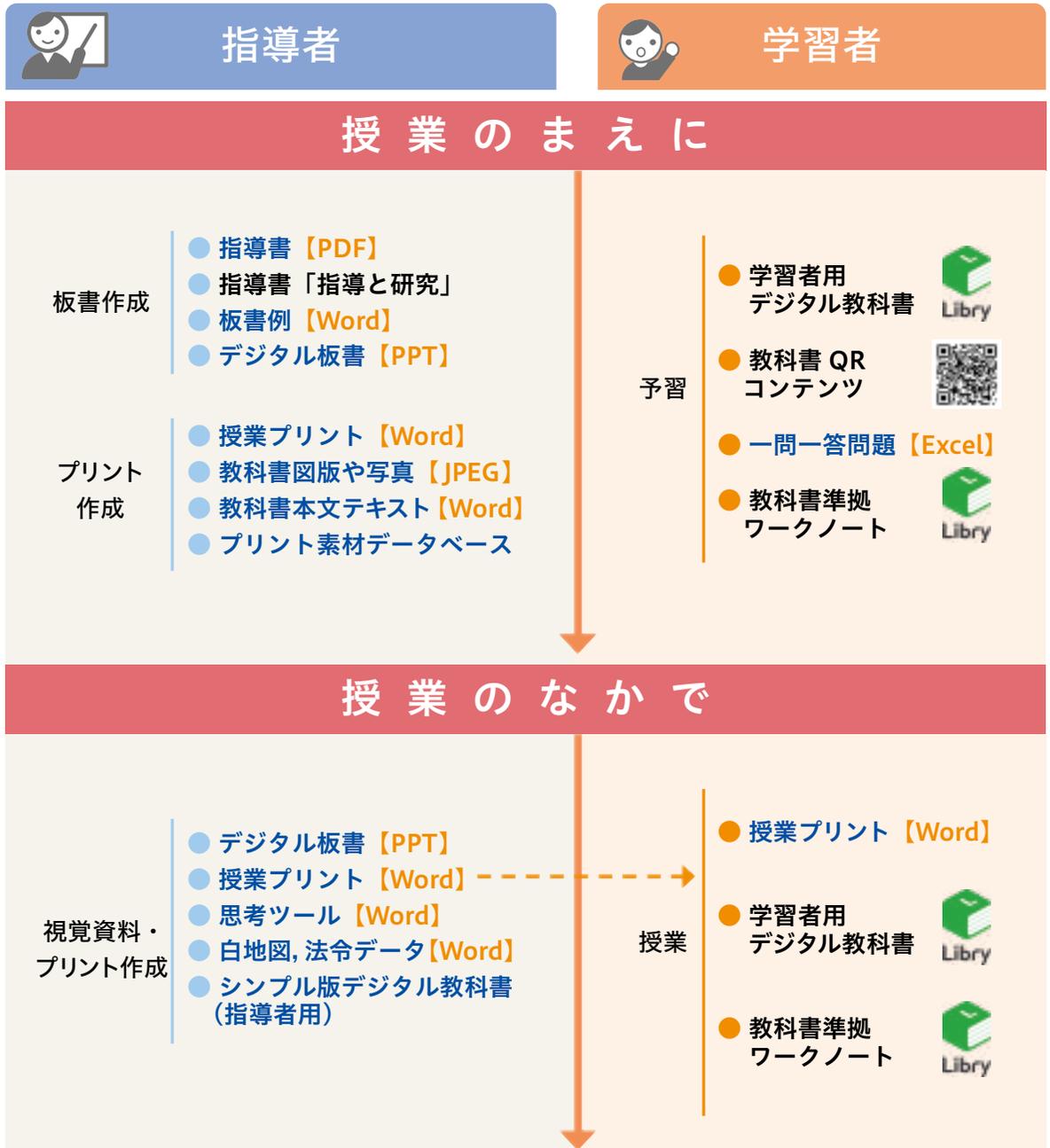
Point 4

具体的な【発問例】を提示して, 生徒の発言を引き出す工夫をしています。この指導書を活用し, 発問とそのポイント, 指導上の留意点などを押さえることで, 授業がよりスムーズになります



指導用資料デジタルコンテンツ・教材活用一覧

授業準備から評価までを徹底サポート！



※青で記載の資料は、デジタル指導書をご購入いただいた際、クラウド上で最新のデータをご利用いただけます。

先生のご指導や、毎月の学習をサポートする
デジタル教材と書籍を用意しています



指導者



学習者

授業のあとに

復習用教材
作成

- 教科書準拠ワークノート
【Word】
- 単元振り返りシート
【Excel】
- 一問一答問題
【Excel】

復習

- 教科書準拠
ワークノート
- その他副教材
- 単元振り返りシート
【Excel】
- 一問一答問題
【Excel】



テスト・評価

試験問題
作成

- 定期試験問題 【Word】
- 共通テスト、
センター試験過去問 【Word】
- ルーブリック評価表 【Excel】
- プリント素材データベース

テスト

- 定期試験
- 確認テストや小テスト

Web
サポート



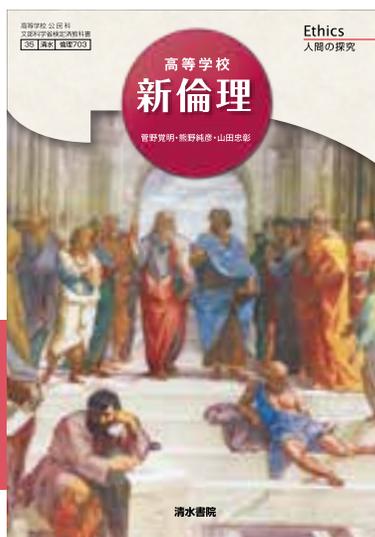
弊社の副教材をご採用いただくと、デジタルサポートサイトから問題・解答など各種データをダウンロードしていただけます。なお、ダウンロードの際には、ご採用校様（原則 10 冊以上）へ「ユーザー ID」と「パスワード」を発行しての利用を予定しております。ダウンロード、ID 発行などの詳細につきましては、弊社営業部にご確認いただくか HP をご参照ください。

高等学校 新倫理

Ethics : 人間の探究

執筆者ご挨拶・ 紹介

(35 清水・倫理 703 A5判 232 ページ)



ご挨拶

私たちの生活は、過去の人びとが残したさまざまな遺産の上に成り立っています。先人からの恩恵は、知識や科学技術にはとどまりません。私たちの抱く夢や希望もまた、先人の「善く生きる」ための努力を受けつぐ中から生まれてくるのです。生を愛し、他者を思いやる人びとの善意は、先哲による「倫理」の思索となって結晶しています。先人たちの思索のエッセンスをあつめたこの教科書が、未来を創造する若者たちの糧となることを願っています。



■著書／『神道の逆襲』『武士道の逆襲』『吉本隆明一詩人の叡智』（以上、講談社）など。現代語訳／『新校訂 全訳注 葉隠』（全三冊、講談社）など。

菅野 覚明 東京大学名誉教授

東西にわたって古来、連綿と紡がれつづけてきた思考の歴史は、生徒たちに「善く生きる」ことを考えさせるうえで、尽きることのない思索の宝庫です。この教科書では、そうした人類の至宝について、高校生にとって過不足のない説明を心がけています。

■著書／『西洋哲学史』（全二冊）『マルクス 資本論の哲学』（以上、岩波書店）『本居宣長』（作品社）ほか多数。翻訳／カント『純粹理性批判』『実践理性批判』『判断力批判』（作品社）、ハイデガー『存在と時間』（全四冊、岩波書店）、レヴィナス『全体性と無限』（全二冊、岩波書店）カッシーラー『国家と神話』（全二冊、岩波書店）ほか。



[北村咲子 撮影]

熊野 純彦 東京大学教授

執筆・編修者

■ 監修・執筆

菅野 覚明 東京大学名誉教授
山田 忠彰 日本女子大学名誉教授
唐沢かおり 東京大学教授
古田 徹也 東京大学准教授
宮村 悠介 愛知教育大学准教授

熊野 純彦 東京大学教授
柏木 寧子 山口大学教授
菊地 達也 東京大学教授
佐々木雄大 日本女子大学講師

■ 編修協力

長島 隆行 埼玉県立大宮高等学校教諭
本郷 洋子 前埼玉県立川越女子高等学校教諭
矢倉 芳則 前北海道大麻高等学校校長

検討の観点

書名 <small>(記号・教科書番号)</small>	高等学校 新倫理 <small>(35清水・倫理703)</small>
検討の観点	内容の構成および特色
内容の程度・選択 <small>(内容の工夫)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新学習指導要領に提示された内容を5つの編に分けた構成である。第1編で心理学、第2編で源流思想、第3編で西洋近・現代思想、第4編で日本思想を学習し、第5編では各編の学習をふまえて現代の諸課題を探究する。 ● 第2編～第4編においては、学習内容が各主題のもとに歴史的な流れに沿って無理なく、しかも系統的に展開されている。 ● 各編において、基礎的・基本的な内容を本文で詳細に記述している。また各所に探究課題を設け、高校生を主体的な思考へと促す工夫をしている。 ● 時代や地域の枠を超えて東西の思考を捉える特集ページを各所に設置し、学びの主体としての高校生の知的好奇心を喚起する工夫をしている。
組織・配列・分量 <small>(全体の構成)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新学習指導要領に準じた5編の構成である。各編・章ごとのページ配分・記述バランスも適切で、分量的にも扱いやすい構成である。 ● 本文記述では、適切な分量・範囲で小見出しを設けるなど工夫されている。
表記・表現・指導の工夫 <small>(創意工夫、指導のための教材など)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● オールカラー印刷で、原典資料や写真・地図・概念図・グラフなどの図版が豊富に掲載され、学習に際して効果的である。教科書の本文記述と関連の深いWeb資料も各所に提示されている。 ● 表現・表記は発達段階に応じて適切に表示され、重要語はゴシック活字を用いるなど工夫されている。 ● 詳しい注や補説、コラム、原典資料、図版などが必要かつ十分に配置されて、本文記述を補完する役割を果たしている。ふりがなや欧文表記、生没年の表記も的確である。 ● 教科書に準拠したワークノートが準備されている。高校生が主体的に学習を進め、単元ごとに知識の定着を図るうえで効果的である。
印刷・造本 配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 活字の大きさは適切で、印刷も鮮明である。造本も堅牢である。 ● 紙面が見やすく読み取りやすいようレイアウトを工夫している。また、色彩・明暗などデザインに配慮した図版を掲載している。
新学習指導要領 への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 新学習指導要領に提示された内容に即し、必修科目「公共」の学習を活かしながら「倫理」の学習を進めることができるよう、全体の構成や配列に配慮している。 ● 「倫理」が探究科目であることに鑑み、高校生が主体的に学習を深めていくことができるよう、各所に興味や関心を喚起する工夫を施している。
総合的所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的・基本的な内容が豊富な資料とともに明確に記述されており、高校生が幅広い知識と教養を身につけることのできる詳述型教科書である。 ● 学習内容のまとめごとに「探究課題」を設置するなど、高校生の主体的な学習活動にもっとも適した教科書である。 ● Web資料の活用などを通して、「倫理」の学習をさらに深化・発展させることのできる教科書である。
判型・その他	<ul style="list-style-type: none"> ● A5判・232ページ(表紙・前後見返しを除く) ● 写真や地図・概念図・原典資料などの枚数:約260 ● 索引数:約1,080項目 ● QRコンテンツ:133 <p style="text-align: right;"> https://www.shimizushoin.co.jp/info_kyo/ririn/index.html </p> <div style="text-align: right;">  </div>

新課程 教科書ラインナップ



高等学校 公共

私たちがひらく未来・社会

現代社会の課題を探究し、
人間と社会の在り方や
未来について考察します

著者 中野勝郎／
宇南山卓／
高橋雅人 他10名
判型 B5判
頁数 224頁
教科書番号 公共705
ISBN 978-4-389-60043-3



私たちの公共

資料から考える現代社会の課題

社会に参画する主体として
自立する事やよりよい社会を
形成することを学ぶ教科書

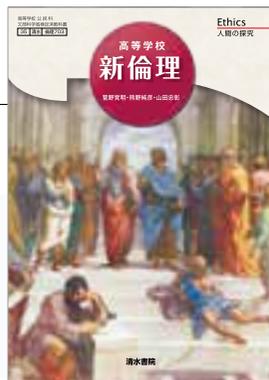
著者 大芝 亮／
橋本康弘 他13名
判型 AB判
頁数 192頁
教科書番号 公共706
ISBN 978-4-389-60044-0

高等学校 新倫理

Ethics : 人間の探究

先哲の思考を辿りながら、
自己・他者・人間について
考察します

著者 菅野覚明／
熊野純彦／
山田忠彰 他10名
判型 A5判
頁数 232頁
教科書番号 倫理703
ISBN 978-4-389-60046-4

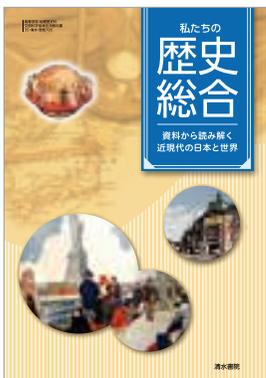


高等学校 政治・経済

現代をみる力 あしたを拓く力

体系的な記述で政治・経済の
基礎を学び、現代日本と
国際社会の諸課題を考察する

著者 中野勝郎／栗原 久
宇南山卓／大西楠テア
他7名
判型 A5判
頁数 260頁
教科書番号 政経704
ISBN 978-4-389-60047-1



私たちの歴史総合

資料から読み解く近現代の日本と世界

これからの時代に必要な
歴史の学びを追求した
教科書

著者 原田智仁／
伊藤純一郎 他16名
判型 A4判
頁数 156頁
教科書番号 歴総705
ISBN 978-4-389-60045-7



高等学校 日本史探究

新視点による日本通史と
アジア・世界

開かれた視点を育む
「グローバル・ヒストリー」
としての日本史

著者 伊藤純一郎 他12名
判型 B5判
頁数 300頁
教科書番号 日探704
ISBN 978-4-389-60048-8

清水書院 WEBサイト は
こちらからアクセス可能 ▶▶▶



清水書院



<https://www.shimizushoin.co.jp/>

ウェブ検索ならびに
URLからも
ご覧いただけます



学びと教育の未来をめざして
清水書院

- 本 社
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-6 清水書院サービス第2ビル TEL(代表): 03-5213-7151
- 大 阪 支 社
〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 2-10-19-408号 TEL: 06-6131-6226
- 札幌営業所
〒065-0022 北海道札幌市東区北22条東3丁目 1-35-211 TEL: 011-788-6861
- 九州出張所
〒818-0023 福岡県筑紫野市大字若江 192-4-8101 TEL: 090-1031-7366